

2024 履修ナビ



東京女子体育大学
東京女子体育短期大学

目 次

I 建学の精神と3つのポリシー

1	建学の精神	1
2	教育理念	1
3	教育目的	1
4	教育目標	1
5	ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)	2
6	カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)	3
7	アドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)	4

II 授業等

1	授 業(授業時間, 授業クラス, 授業ガイダンス, 通常授業, 補講, 学生証の携行)	5
2	試 験(一般的注意事項, 追試験, 再試験, 試験時の学生証の提示, 各試験後の対応)	8
3	成 績(成績評価基準, 成績照会, GPA 制度, 単位保留等特別な配慮)	9
4	卒業要件と学位	11
5	担任制度とゼミナール(担任制度(グループ担任), ゼミナール(ゼミ担任), オフィスアワー)	11
6	教務事務一般に関する注意事項(教科書購入, 教務課に届ける事項)	12
7	科目等履修生(資格・出願手続き, 登録料等納入金, 履修期間・単位数等)	12
8	他学科履修(他学科履修科目の登録)	13

III 履修登録

1	履修の基本事項(学年・学期, 授業科目(開講期間), 授業科目(履修区分), 授業形態, 授業時間と単位数, 単位修得までの流れ, シラバス, 履修登録単位数の上限)	14
2	授業科目表と履修・修得単位	15
3	履修計画と履修登録の留意事項(履修登録の留意事項, 履修手続きのポイント)	18
4	授業時間割表の見方と自分の時間割のつくり方	18
5	履修登録の手続きと登録の完了(履修登録の流れ, 履修登録の追加取消等)	19

IV その他

1	専攻コース	21
2	ゼミナール・卒業研究	23
3	履修体系[大学]・進路希望に即した履修モデル[短期大学]	26

V 授業科目表

1	大学体育学部(平成27年度カリキュラム)	30
2	短期大学こどもスポーツ教育学科幼小コース(令和2年度カリキュラム)	34
	幼保コース(令和2年度カリキュラム)	36

VI 教職課程・保育士課程

1	本学で取得できる教育職員免許状・保育士資格	38
2	教育職員免許状・保育士資格の取得要件	38
3	必要な履修科目	38
4	教育実習	38
5	保育実習	39
6	介護等体験	39
7	教育職員免許状の申請手続	40
8	保育士資格の申請手続	40

VII 取得可能な資格

1	資格取得の意義	41
2	取得できる資格	41

I 建学の精神と3つのポリシー

I-1 建学の精神

本学園は、日本初の女子体育教師養成学校として創設され、創設時から音楽を応用した体操遊戯を取り入れ、一世紀以上にわたって社会に貢献してきました。

建学の精神は、「心身ともに健全で、質素で誠実、礼儀正しい女子体育指導者の育成」です。これは、藤村トヨの女性観、教育観により確立したもので、現在でも本学園では「女性の感性を生かした体育の実践」を重視しています。「多弁」と「巧言令色」を嫌い「不言実行」を大義に、思慮深くて高潔な人格形成を目指した藤村トヨは、学生と寝食を共にしながら全人教育を実践してきました。今日でも、この全人教育は本学園の教育信条として学生指導の大きな指針となっています。また、健康の秘訣として藤村トヨが提唱した「腰伸ばせ即腹の力」の教えは、事における精神的構えとして現在でも本学園を象徴する教訓として生きています。

I-2 教育理念

『東京女子体育大学・東京女子体育短期大学は、建学の精神に基づき、体育・スポーツの知の獲得と深い洞察力を身に付け、運動文化伝承の担い手として、凛とした次世代のリーダーとなる人材を育成します』

I-3 教育目的

大学『本学は、体育・スポーツの専門的な知識・技能の教授、研究を通して、品格ある有能な女子体育指導者を養成するとともに、幅広い分野で社会の発展に貢献する人材を育成することを目的とする』

短大『本学は、体育・スポーツの実践的な知識・技能の教授、研究を通して、品格ある有能な女子体育指導者を養成するとともに、幅広い分野で社会の発展に貢献する人材を育成することを目的とする』

I-4 教育目標

【大学】

1. 一般教養及び体育・スポーツの専門教養を学び、状況を適切に判断し、行動に移す能力の獲得
2. 専門的な知識・技能の習得と思考力、判断力、表現力の獲得
3. 教え合い、学び合うことで培われる人間性の涵養とコミュニケーション能力の獲得

【短大】

1. 一般教養及びこどもの身体性の専門知識を学び、状況を適切に判断し、行動に移す能力の獲得
2. 「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」による、実践的な思考力、判断力、表現力の獲得
3. 教え合い、学び合うことで培われる人間性の涵養とコミュニケーション能力の獲得

I-5 ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)

ディプロマ・ポリシーとは

学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標となるものです。

(1) 大学体育学部体育学科

教育目標をかかげ、4年間の学修を通して、教育課程を修了して所定の単位数を修得し、以下に定める能力を身に付けた学生に対して、「学士(体育学)」の学位を授与します。

〔人間形成・知識・技能・理解力・指導力〕

1. 豊かな社会性と人間性を支える広い教養を身に付けている。
2. 体育学の内容を理解し実践できる能力を有している。
3. 専門分野にとどまらず、様々な領域に柔軟に対応し、指導できる力を有している。

〔実践的に必要な思考力・判断力・表現力〕

4. 自ら設定した課題について、専門領域から分析・考察することができる。
5. 多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができる。

〔社会との関わり・関心・意欲〕

6. 社会の変化に伴う諸問題を理解し、探究心を持って積極的に解決することができる。
7. 体育・スポーツの知を生かし、社会の発展に貢献できる。

(2) 短期大学こどもスポーツ教育学科

教育目標をかかげ、2年間の学修を通して、教育課程を修了して所定の単位数を修得し、以下に定める能力を身に付けた学生に対して、「短期大学士(こどもスポーツ教育)」の学位を授与します。

〔人間形成・知識・技能・理解力・指導力〕

1. 豊かな社会性と人間性を支える広い教養を身に付けている。
2. 「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」の視点から子どもの成長過程を幅広くとらえることができる。
3. 専門分野にとどまらず、様々な領域に柔軟に対応し、指導できる力を有している。

〔実践的に必要な思考力・判断力・表現力〕

4. 自ら設定した課題について、専門領域から分析・考察することができる。
5. 多様な人々の意見を聴き、理解した上で自分の考えを表現し、的確に伝えることができる。

〔社会との関わり・関心・意欲〕

6. 社会の変化に伴う諸問題を理解し、探究心を持って積極的に解決することができる。
7. 保育・幼児教育および児童教育の知を生かし、社会の発展に貢献できる。

I-6 カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

カリキュラム・ポリシーとは、
ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、
学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針です。

(1) 大学体育学部体育学科

[カリキュラムの編成と教育内容]

4年間の学修を通して教育目標を達成するための、教養科目、基礎科目および体育の専門科目で編成します。
専門科目は、4つの専攻コース(コーチング学、スポーツ健康学、スポーツマネジメント学、教職体育学)
別の科目と共通の科目で編成します。

それぞれの教育内容は次のとおりです。

○教養科目

本学の基本理念および歴史と伝統、国語、外国語等豊かな教養の基盤を養います。

○基礎科目

体育・スポーツの基礎理論と基礎実技を学び、各専門領域の導入を図ります。

○専門科目

身体教育および健康教育のあり方やスポーツの文化的な価値や意義に関し、理論と実技の両面から専門的に学びます。

○ゼミナール・卒業研究

3年次からは、少人数のゼミナールにより、担当教員の指導のもと、研究方法を学び、意欲的に研究活動に取り組み研究発表を行います。

[教育方法]

講義、演習、実技、実習等を複合的に行います。また、学生同士が教え合い相互に学び合う協同学習を授業形態に取り入れています。

[学修成果の評価方法]

科目ごとに、シラバス(授業計画書)に明示した評価の方法により、試験(筆記、実技等)、レポート等で行います。

(2) 短期大学こどもスポーツ教育学科

[カリキュラムの編成と教育内容]

2年間の学修を通して教育目標を達成するために、教養科目、保育・幼児教育・児童教育に関する科目および教職に関する専門科目でカリキュラムを編成します。

それぞれの教育内容は次のとおりです。

○教養科目

本学の基本理念および歴史と伝統、国語、外国語等豊かな教養の基盤を養います。

○基礎科目・専門科目

音楽、図画工作、教育原理、発達心理学等、保育・幼児教育および児童教育の基礎理論と基礎実習により実践力を養います。

- ・幼小コース：幼稚園教諭および小学校教諭の資格取得に必要な教科と実習
- ・幼保コース：幼稚園教諭および保育士の資格取得に必要な教科と実習

[教育方法]

「動きづくり」「音づくり」「ものづくり」を重視した教育を展開するために、講義、演習、実技、実習等を複合的に行います。さらに保育実習・教育実習や卒業公演である『創作オペレッタ』等を通してその能力を磨きあげます。

[学習成果の評価方法]

科目ごとに、シラバス(授業計画書)に明示した評価の方法により、試験(筆記、実技等)、レポート等で行います。

I-7 アドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)

アドミッション・ポリシーとは、学部・学科等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、入学者を受け入れるための基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学修成果を示すものです。

(1) 大学体育学部体育学科

本学は、多様な入学試験により、入学者に求める力を多面的・多角的に評価し、総合的に判定します。受け入れる学生には、以下のいずれかの能力を求めます。

1. 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。
 - 高等学校での履修内容を理解し高等学校卒業相当の知識を有している。
 - 体育・スポーツに関して、修学に必要な実技能力を有している。
2. 物事を多面的かつ多角的に観察し、論理的に考察することができる。
3. 自分の考えをまとめた的確に表現することができる。
4. 体育・スポーツに関わる諸問題に深い関心を持ち社会に積極的に貢献する意欲がある。
5. 積極的に多様な人々とのコミュニケーションを図り相互理解に努めようとする態度を有している。

(2) 短期大学こどもスポーツ教育学科

本学は、多様な入学試験により、入学者に求める力を多面的・多角的に評価し、総合的に判定します。受け入れる学生には、以下のいずれかの能力を求めます。

1. 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。
 - 高等学校での履修内容を理解し高等学校卒業相当の知識を有している。
 - 音楽、図画工作、体育に関して、修学に必要な実技能力を有している。
2. 物事を多面的かつ多角的に観察し、論理的に考察することができる。
3. 自分の考えをまとめた的確に表現することができる。
4. “スポーツを愛し、子どもを愛せる人”で、保育・幼児教育および児童教育に関わる諸問題に深い関心を持ち、社会に積極的に貢献する意欲がある。
5. 積極的に多様な人々とのコミュニケーションを図り相互理解に努めようとする態度を有している。

Ⅱ 授業等

Ⅱ-1 授業

(1) 授業時間

90分を1校時(1コマ)として、9時から18時00分まで1日5校時(土曜日は2校時)に区分しています。

校 時	授業時間
1校時	9:00～10:30
2校時	10:45～12:15
(昼休み)	(12:15～13:05)
3校時	13:05～14:35
4校時	14:50～16:20
5校時	16:30～18:00

※授業時間の間が短いので、速やかに移動してください。着替え等で入室が遅れた場合には授業科目担当教員にその旨伝えてください。

(2) 授業クラス

〈大学体育学部〉

大区分はA・B、中区分はA1・A2・B1・B2、小区分はa・b・c・d・e・fに区分されます。なお、1学年の武道(柔道)・武道(剣道)の授業は、①～⑨の9クラスに区分して行います。

大区分	A			B					
中区分	A1		A2	B1		B2			
小区分	a	b	c	d	e	f			
武道	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

〈こどもスポーツ教育学科〉

小区分はA・B・Cに区分されます。授業科目によってBC合同で行います。

大区分	ABC		
中区分	AB、C		A、BC
小区分	A	B	C

(3) 授業ガイダンス

前期・後期の初回の授業でシラバス等に基づき、授業の内容・進め方等についてガイダンスを行います。前期は、履修登録前ですが、履修を予定する授業科目の授業に必ず出席してください。

後期は、既に履修登録した授業科目の授業に出席してください。

①ガイダンスの期間

通常授業開始の1週間

②ガイダンスの方法

授業内容等についてシラバスに沿って具体的に解説したあと、引き続き通常授業に入ります。

(4) 通常授業

各学年ともクラス制をとっているため、原則として自分の授業クラスに担当されている科目・曜日・校時で履修します。

①出席のとり方

出席は、アプリ「UNIVERSAL PASSPORT」を使用します。なお、授業によっては、他の方法で出席をとることがありますので、必ず学生証を携帯してください。

②遅刻の取扱い

- ア. 遅刻は 20 分を限度とします。ただし、これ以降であっても授業への支障がない限り（担当教員の許可を得て）、教室・体育館等への入室・入場することは可能です。
- イ. 公共交通機関の遅延証明書がある場合は、「出席」または「特別欠課」と同等の扱いとなります。（遅延時間や授業展開等により教員が判断）
- ウ. 公共交通機関の遅延や運休により授業時間内に出校できなかった場合は、「特別欠課」と同等の扱いとなります。（遅延や運休を証明できる場合）

③欠席の場合

授業は定められた時間割に従って毎回出席しなければなりません。都合によりどうしても欠席をする場合は、教務課にある「欠課届」に必要事項を記入してそれぞれの授業科目担当教員に事前に提出してください。

また、引き続き 1 週間以上欠席する場合は、「欠課届」を授業科目担当教員に事前に提出するとともに、「欠席届」を教務課に提出してください（病気・負傷等の場合は、医師が診察したことの分かるものを添えること）。

④授業の特別欠課

次の場合は特別欠課の扱い（それぞれ証明書類が必要）になりますので、「特別欠課届」の用紙に必要事項を記入し担当部署の押印を受けて、すみやかに授業科目担当教員に提出してください。1 つの科目において提出できる特別欠課届は最大 7 枚です。ただし、特別欠課の提出をもって出席とはなりませんので、授業担当教員の指示に従うとともに、授業出席日数には十分に注意してください。以下の場合、「評価対象外」となります。

- ア. 正当な理由なく、授業の 2 / 3 以上の出席がない場合
- イ. 5 回を超える欠課のうち、自己都合欠課が 3 回を超える場合
- ウ. 7 回を超える欠課があった場合（その理由に依らず）

欠課状況	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11-15	対応
特別欠課0	欠	欠	欠	欠	欠	欠						評価対象外
特別欠課1	特	欠	欠	欠	欠	欠						
特別欠課2	特	特	欠	欠	欠	欠						
特別欠課3	特	特	特	欠	欠	欠	欠					
特別欠課4	特	特	特	特	欠	欠	欠	欠				
特別欠課5	特	特	特	特	特	欠	欠	欠				
特別欠課6	特	特	特	特	特	特	欠	欠				
特別欠課7	特	特	特	特	特	特	特	欠				
特別欠課8	特	特	特	特	特	特	特	(特)				

★印の様式はホームページからダウンロードできます。

事 由	様 式	担当部署	添付書類	
授業の時間割の重複	特別欠課届	教務課		
忌引き(2親等内親族・連続した3日間まで)	★		会葬礼状など	
授業中負傷				
学校感染症			健康管理センター	登校許可証明書★
介護等体験			教職センター	
本学を代表した試合等出場			学生課	出場届
就職採用試験等			キャリア支援課	来社証明書★
教育実習等	特別欠課届	教職センター		
社会体育施設実習		キャリア支援課		
特定の資格認定試験				
特定のボランティア等地域活動		地域交流センター		
その他公民権行使等学長が特に認めた場合		教務課		

⑤休講の場合

授業科目担当教員の都合等で休講になる場合は、掲示板やポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」に掲示しますので、確認してください。

⑥臨時休講になる場合

登校前に台風等による自然災害や事故等でJR中央線・南武線等が運休している場合は、午前6時の時点で臨時休講の判断をし、その後、本学ホームページ及びポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」に掲示するので、必ず確認してください。

(5) 補講

休講などにより授業内容や授業時間の不足が生じた場合、それを補うために補講授業を行う場合があります。補講授業は、原則として行事予定表に示した補講期間に別途時間割を組んで行いますので、補講科目・校時・教室をポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」で確認してください。ただし、授業科目担当教員が独自に行う場合もありますので、受講漏れのないよう注意してください。

(6) 学生証の携行

登校の際は必ず学生証を携行してください。授業の出席をとる際、必要となる授業科目もあります。また、期末試験や追・再試験の受験、証明書の交付、図書館の利用などにも必要となります。

①学生証の取扱い

学生証の有効期間は、大学は4年間、短期大学は2年間ですので紛失しないよう管理してください。氏名の漢字や生年月日等に誤りがある場合は、速やかに教務課に申し出てください。

通学定期券の購入が必要な場合は、学生証受領時に「通学定期乗車券発行控」を配布します。

②学生証の再発行

学生証を破損、紛失した場合は、自動発行機で「申込書」を選択し、学籍番号を入力して「学生証再発行願」(2,000円)を購入し、教務課に提出します。その場合、「学生証再発行引換券」を受領し、指定された期日に引換券と交換に

新学生証を受領します。

学生証の盗難にあった場合は、最寄りの警察に届けましょう。学生証を悪用されて思わぬ被害を受けることがあります。

Ⅱ-2 試験

(1) 一般的注意事項

- ① 履修した授業科目に関する試験は、各授業科目担当教員が授業内において随時行う予定ですので指示に従ってください。ただし、期末試験として各学期末の補講期間に行う場合があります。
- ② 次のいずれかに該当するときは、試験を受けることができません。
 - ・試験を受けようとする科目の履修登録がされていないとき
 - ・学生証を所持していないとき(「仮学生証」の交付を受けて受験する)
 - ・試験開始後、20分を過ぎたとき
 - ・授業料等学納金を滞納しているとき(分納・延納手続をしている者を除く)
- ③ 試験を受けるときは以下の注意事項を遵守してください。
 - ・机の上には特別の指示がある場合を除き、鉛筆(シャープペンシル)、消しゴム以外(下敷き、鉛筆ケース等)は出さないこと
 - ・机の中にも一切物を置かないこと。本、ノート、プリント類は全部バッグにしまい、隣の者との間の椅子の上に置くこと
 - ・学生証は、ケースから抜き出し、通路側の机の上に置くこと
 - ・必要な事情が生じたら挙手をして指示を待つこと
 - ・携帯電話、スマートフォン、時計(ウェアラブル端末含む)のアラーム等の音が出ないようにスイッチを切ること(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末はバックにしまう)
 - ・不正行為は行わないこと 不正行為を行った場合は、厳しい処分を受けます

(2) 追試験

特別欠課により期末試験等を受験できなかった場合は、追試験を受けることができます。授業科目担当教員には特別欠課届を提出して、教務課で発行している「追試験受験願」(追試験料免除)と学生証を机の上に置いて受験してください。

* 追試験料の免除

- ① 特別欠課の事由(6頁)により期末試験等が受けられなかった学生は、「追試験料」が免除されます。ただし、ボランティア等地域活動は該当しないので、定期試験を優先し日程の調整をしてください。
- ② 追試験料の免除に該当する学生は、特別欠課届を教務課に提示し「追試験受験願」(追試験料免除)の手続きを行い、その後、授業科目担当教員に「特別欠課届」を提出してください。

(3) 再試験

合格しなかった科目で再試験を受ける場合又は自己都合で期末試験等を欠席した科目を受ける場合には、自動発行機で購入した「再試験料」(1科目1,500円)と学生証を机の上に置いて受験してください。

(再試験当日は、自動発行機が混み合い試験開始時間に間に合わないこともあるので、試験日より前に購入しておくようにすること)なお、再々試験等その後の試験には「再試験料」は必要ありません。

(4) 試験時の学生証の提示

試験等を受験する場合は、必ず学生証を携行し提示しなければなりません。万一忘れた場合は受験ができないので、その際は「仮学生証」(当日限り有効)の発行を受けることになります。

*** 仮学生証の発行**

自動発行機で「申込書」を選択し、学籍番号を入力して「仮学生証(証明書類申込書)」(200円)を購入し、教務課で「仮学生証」用紙に必要な事項を記入して認印を受けます。仮学生証は発行日に限り有効のため、下校時には教務課に返還してください。

(5) 各試験後の対応

試験結果に関する連絡は、学生がすみやかに対処する必要があります。見落とし等がないようポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」の「成績照会」にて各自確認し、以下の対応をとってください。

試験結果	記号	学生の対応
対象外	N	評価不能。履修する必要がある場合は、来年度履修登録すること
不可	E	履修する必要がある場合は、来年度履修登録すること
保留	F	すみやかに科目担当教員に相談すること
追試験	G	試験日を確認し、試験を受けること
再試験	H	試験日を確認し、試験を受けること

この他、別途、担当教員から課題や学力保障等の指示を掲示することがあるので、常に掲示板及びポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」に注意し、その指示に従ってください。

II-3 成績

(1) 成績評価基準

評価	合格(単位修得)					不合格	
	秀	優	良	可	認定	不可	対象外
点数	90点以上	80点以上	70点以上	60点以上	点数なし	60点未満	点数なし

「認定」は大学学則第29条、30条及び短大学則第25条、26条の規定により認められる単位や、次の科目についての成績評価です。GPAには含まれません。

- ・藤村トヨの教育
- ・キャリアデザイン
- ・ボランティア理論
- ・ボランティア実習
- ・キャリアトレーニング
- ・インターンシップ

「対象外」は点数の如何にかかわらず出席状況が不良のもの及び試験(追・

再試験を含む)の欠席等で評価できないものです。追試験の成績は、定期試験合格者との公平性が保たれるように考慮し、再試験は75点以上を合格の目安としています。

(2) 成績照会

- ① 成績はポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」の成績照会で確認してください。
- ② 既に履修した科目で、科目名・単位・評価が記入されていないときは、教務課で確認してください。
- ③ 保証人(保護者)には、当該年度の前期までの成績を10月中旬、後期までの成績を3月下旬に送付します。送付後、「成績に関する質問」については、「質問用紙」(任意様式)に記入のうえ、学生本人から教務課へ提出してください。直接電話等による保護者からの質問は受け付けていません。回答は、質問を受け付けてから概ね3日後に教務課窓口で学生に説明します。

(3) GPA 制度 (Grade Point Average)

各科目の成績評価を点数に換算することで、学生の学修状況を客観的に把握できる指標です。

ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」の成績照会から、学期GPA及び累積GPAの数値を確認することができます。なお、数値の算出方法は以下のとおりです。

(GPAの算出方法)

GPA対象科目は、成績評価基準によって成績を認定される科目であって、かつ、卒業要件に算入されるすべての科目を対象とします(成績を認定されない科目は対象となりません)。

計算値は、小数点第3位以下を四捨五入します。

① 学期GPAの計算式

$$\frac{\text{当該学期の「秀」の単位数} \times 4 + \text{「優」の単位数} \times 3 + \text{「良」の単位数} \times 2 + \text{「可」の単位数} \times 1}{\text{当該学期の総履修登録単位数(「不可」「対象外」の単位数を含む)}}$$

② 累積GPAの計算式

$$\frac{\text{全期間の「秀」の単位数} \times 4 + \text{「優」の単位数} \times 3 + \text{「良」の単位数} \times 2 + \text{「可」の単位数} \times 1}{\text{全期間の総履修登録単位数(「不可」「対象外」の単位数を含む)}}$$

(4) 単位保留等特別な配慮

① 保留

当該学期内には単位を授与できないが、次学期に単位修得の見込があると思われる場合は「保留」扱いとし、授業科目担当教員がその科目の成績評価を次学期に繰り越すことがあります。ただし、必ず単位修得できるわけではなく、その後の学業状況により判断されます。

保留判定を受けた科目については、すみやかに授業科目担当教員に相談してください。

② 履修の特例

大学に在学する学生が、単位修得に関して、時間割の開講時期等の関係で特別の事情により履修がやむを得ないと認められる場合、短期大学の授業科目を

履修し、単位を修得することを認めることがあります。また、短期大学に在学する学生が大学の授業科目を履修し、単位を修得することを認めることがあります（単位互換制度）。

履修がやむを得ないと認められるのは、所属する教育課程に含まれていない科目や、卒業年次で卒業単位を充足しなければならないケースで、その場合学生は学年又は学期の始めに教務課に申し出て、所定の手続きをとります。

③単位保管

当該年度の学納金未納者の履修した科目の単位は、学納金納入があるまでその授業科目の修得単位を保管します。

II-4 卒業要件と学位

(1) 大学体育学部体育学科

4年(3年次編入学は2年)以上在学し、所定の単位(124単位以上)を修得した者は卒業することができ、学士(体育学)の学位が授与されます。

(2) 短期大学 こどもスポーツ教育学科

2年以上在学し、所定の単位(64単位以上)を修得した者は卒業することができ、短期大学士(こどもスポーツ教育)の学位が授与されます。

(3) 卒業の通知

2月下旬の卒業認定会議を経て、「UNIVERSAL PASSPORT」で通知されます。なお、その際、卒業の可否に関する件を電話で問い合わせることはできません。

II-5 担任制度とゼミナール

(1) 担任制度 (グループ担任)

大学1・2年生、短期大学1・2年生を対象に、小グループ(25～30人程度)編成の担任制度をとっています。大学生活を豊かに、実りあるものにするため、学習上のことはもとより、クラブ活動・人間関係・経済問題・単位修得・進路のことや下記事項などについての悩み事は、グループ担任に気軽に相談しましょう。

- ① 学業・交友関係・進路相談に関すること
- ② 出席が常でない等学修に関すること
- ③ 休学、退学、復学等学籍に関すること
- ④ 保証人等の身上の変化に関すること
- ⑤ 授業料等納付金(未納・延納・分納等)に関すること

(2) ゼミナール(ゼミ担任)

大学3・4年生は全学生がゼミナールに所属し、指導教員のもとで学習します。ゼミナールは、1グループ10人程度で編成されます。ゼミナールの所属決定は2年次の11月頃に各学生の希望を調査し、調整のうえ所属が決定されます。2年次の早い時期に自分が深く学びたい学問分野は何かを考えておくことが必要です(詳細は23頁を参照のこと)。

3・4年生も、学修上のこと、クラブ活動・人間関係・経済問題・単位取得・

進路のことなどについての悩み事はゼミナールの指導教員に気軽に相談しましょう。

(3) オフィスアワー

グループ担任やゼミ担任の他に、先生に聞きたいことや相談したいことがある場合には、気軽に研究室を訪ねられる時間を設けています。時間帯は、前期・後期ごとに各先生の設定時間を掲示します。オフィスアワーは、学生に開かれた質問・相談の窓口ですので、積極的に活用しましょう。

II-6 教務事務一般に関する注意事項

(1) 教科書購入

教科書は、前期・後期の始めに期日を定めて校内販売を行います。履修する授業科目を確認し、購入漏れのないように注意してください。販売時期、場所等については、履修オリエンテーション等で通知します。

(2) 教務課に届ける事項

次の事由が発生したら、速やかに「諸届変更届」を提出してください。

「諸届変更届」の様式はホームページからダウンロードできます。

【学生本人の変更事項】

- ① 結婚等で改姓したとき
- ② 引越して住所が変わったとき
- ③ 電話・携帯電話の番号が変わったとき

【保証人(保護者)の変更事項】

- ① 保証人を変更したとき
- ② 保証人の住所、電話番号等が変わったとき

※重要かつ緊急な連絡を行うことがありますので、電話・携帯電話の番号が変わったときは速やかに「諸届変更届」を提出してください。

II-7 科目等履修生 [対象:大学3・4年生及び卒業生]

本学体育学部の学生で、中学校・高等学校の教育職員免許状(一種)の取得を目指し、さらに小学校または幼稚園教諭の教育職員免許状(二種)の取得を希望する場合は、科目等履修生制度を利用して本学短期大学こどもスポーツ教育学科の授業科目を履修することができます。免許取得に必要な単位を修得することで、個人申請により免許状を取得することができます。在学生の履修単位数の上限は年間20単位以内です。

卒業生は、当該授業科目の授業の運営に妨げとならない範囲で受入れしています。

(1) 資格・出願手続き

履修資格は大学卒業生又は大学2年次以上を修了した者で、科目等履修生志願書(本学様式)及び成績証明書等の提出が必要です。

※科目等履修生の出願は、希望者を対象にした説明会を1月下旬と7月下旬に行っています(説明会の日時は事前に掲示します)。

資料は教務課で配付しますので、履修を希望する学生は早めに窓口で相談してください。

(2) 登録料等納入金

- ① 選考料 20,000 円
 - ② 登録料 15,000 円
 - ③ 履修料 1 単位につき 10,000 円
- ※継続する場合、次年度は履修料のみ

(3) 履修期間・単位数等

- ① 履修期間は6ヶ月又は1年単位です。ただし、継続は3年を超えることはできません。超える場合は新規出願となります。
- ② 履修単位数は年間20単位以内です。
- ③ 学部の自分のクラスでの授業を優先して履修します。

II-8 他学科履修

短大こどもスポーツ教育学科の学生で次のいずれかに該当する場合は、他学科の授業科目を履修することができます。この制度を活用して、編入学や将来の進路に役立つ授業科目を選択しようと考えている学生は、履修登録の際に検討してください。

- ① 学生の所属する学科の教育課程に含まれていない授業科目の履修とします。
- ② 学生の特別な事情により、履修がやむを得ないと認められる授業科目の履修とします。
- ③ 他学科履修できる授業科目の単位数は10単位を越えない範囲とします。
- ④ 他学科履修は、当該学科の学生の授業運営上支障がない範囲で認めます。

特に、こどもスポーツ教育学科から将来、本学の大学に編入しようと考えている学生、ジュニアスポーツ指導員資格等を取得したい学生に、保健体育学科の授業科目の履修を可能にしています。ただし、こどもスポーツ教育学科の学生は、小学校、幼稚園教諭の免許状、保育士資格を取得することになりますので、かなり必修科目が多くなります。まず、必修科目を確実に履修することを最優先とし、その上で授業時間割の空き時間を活用して他学科履修を考えましょう。

(1) 他学科履修科目の登録

他学科履修を希望する学生は、教務課の窓口でその旨を伝え、相談してください。

- ① 履修登録期間に教務課から他学科履修申請書を受領します。
- ② 他学科履修申請書に必要事項を記入して教務課に提出し、履修登録をします。

※卒業後、本学体育学部編入学を考えている学生は、計画的に一定の履修科目数を履修するようにしてください。取得した単位は編入後「認定」されます。

Ⅲ 履修登録

Ⅲ-1 履修の基本事項

(1) 学年・学期

① 学年は4月1日に始まり、3月31日に終了します。

② 学期は前期・後期の2学期に分かれ、前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から3月31日までとなっています。ただし、教育上必要な場合、後期の授業開始が9月になることがあります。

(2) 授業科目(開講期間)

①通常授業

授業科目は、前期又は後期のいずれかで完結する「半期科目」と1年間で完結する「通年科目」に分類されます。本学は、セメスター制を導入しており、ほとんどの授業科目が半期科目で構成されています。

②集中授業

海浜実習・スキーなどの学外実習は、一定の期間に集中して実施します。このほか、教育上の理由から集中して行うことで教育効果が認められる授業があります。「集中授業科目」の一覧は、ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」で確認することができます。

(3) 授業科目(履修区分)

①必修科目

本学の教育目的を達成するために必ず修得しなければならない授業科目です。1科目でも修得できなければ卒業は認定されません。

②選択必修科目

指定された開設科目の中から自由に選択し、履修することができる授業科目です。ただし、最低修得単位数が定められている場合は、その単位数以上の科目を必ず修得しなければ、卒業は認定されません。

③選択科目

自由に選択し、履修することができる授業科目です。

(4) 授業形態

授業科目は3つの形態に分類されます。

①講義

教員が学生に対して、学問研究の内容を説明することにより知識を授ける授業形態です。

②演習

教員の講義とともに、実技・討議・研究発表等を行いつつ指導を受ける授業形態です。

③実技

学んだ知識をもとに実地の技術や実技を行う授業形態です。

(5) 授業時間と単位数

各授業における単位とは、各科目の授業時間と学修の量を数値で示したものです。1単位は卒業研究等を除き45時間の学修(授業・自学自習)を必要とする内容をもって構成することを標準としています。

(例) 講義 週1コマ(15回)2単位科目の場合

◆必要学修時間◆ 45時間×2単位=90時間 それぞれの授業科目を履修した者に対しては、試験を課したうえで単位を授与します。

(6) 単位修得までの流れ

履修登録 ⇒ 授業+自学自習 ⇒ 試験 ⇒ 合格 ⇒ 単位修得

(7) シラバス (Syllabus)

シラバスは、授業科目担当教員が学生に対して授業で扱う内容(概要)を示したものです。シラバスを参照することで、授業の概要、授業の方法・形態、授業の到達目標(DPで目指す資質・能力)、授業計画、評価の方法、使用する教

材・必要な参考書、授業外学習(予習・復習)を知ることができます。履修登録を行うにあたり、科目選択の基準としてシラバスを活用してください。各授業科目のシラバスは、ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」により4月初めに公開されます。

(8) 履修登録単位数の上限

1年間に履修登録できる単位数の上限は46単位です。

半年に履修登録できる単位数は23単位としますが、負傷等で単位修得が十分できなかったなどの正当な理由がある場合は、個別に対応します。

履修登録単位数の上限の範囲に、含める科目と含めない科目があります。含めない科目は、①集中授業の選択科目、②卒業認定単位に含めない選択科目(スポーツ健康学実習、社会体育・健康産業等施設実習など)、③卒業認定単位に含めない教職科目(学科により異なります)です。また、所定の手続きにより履修を取消した科目は、上限単位数に含めません。

転入学生、編入学生、特に必要と認める卒業年次の学生は、履修登録できる単位数の上限を別に定めることがあります。

こどもスポーツ教育学科は学期での制限はなく、年間で46単位が上限となります。

Ⅲ-2 授業科目表と履修・修得単位

〈大学体育学部体育学科〉

(1) 「授業科目表」(30～33頁)は、授業科目名、単位数、標準履修学年、履修区分、最低修得単位数等が記載されています。

(2) 大学体育学部を卒業するためには、次の①～⑥の条件を満たし、124単位以上を修得することが必要です。

① 教養科目は、次の条件を満たした上で、22単位以上を修得します。

必修科目3科目4単位、外国語コミュニケーション2科目2単位(英語・独語・仏語の中から1つの言語を選択し、I及びIIを必ず修得する)、他の科目16単位修得します。

② 専門に関する科目の「基礎理論」(必修5科目10単位)と「基礎実技」(必修16科目16単位・選択6科目6単位)の最低修得単位32単位を修得します。

「基礎実技」のIa・Ib、I・IIを付した科目は連続して履修します。IIa・IIbの科目は単独での履修が可能です。

- ③ 専門に関する科目の「専攻理論」は、1つのコースを選択し、3科目6単位を修得します。「専攻実習」は、「専攻理論」と同じコースを選択し4単位を修得します。
- ④ 専門に関する科目の「選択領域理論・実習」は、最低修得単位30単位以上を修得します。ただし、講義または講義・演習の科目から25単位以上を履修することが必要です。
- さらに「選択領域理論・実習」のほか、「教養科目」及び「専門に関する科目」のうち最低修得単位数を超えて修得した科目や「教職に関する科目」のうち指定科目(＃)から修得した科目の単位数が、合わせて56単位以上となるよう選択し単位を修得します。
- ⑤ 専門に関する科目の「ゼミナール」は、3・4年次に4単位を修得します。「ゼミナール」は、「体育・スポーツ学」、「教育学」及び「教養教育」の3分野に区分されています。「卒業研究」2単位は、「体育・スポーツ学ゼミナール」が必修、「教育学ゼミナール」及び「教養教育ゼミナール」は選択です。
- ⑥ ①～⑤で修得した単位数の合計が、124単位以上となるよう履修し単位を修得します。

(3) 卒業に必要な授業科目と最低修得単位は次のとおりです。

体育学部(令和6年度入学)					
授業科目		必修	選択	最低修得単位数	備考
教養科目	教養科目(必修)	4単位		22単位	1つの外国語を選択
	教養科目(選択)		16単位		
	外国語コミュニケーションⅠ		1単位		
	外国語コミュニケーションⅡ		1単位		
専門科目	基礎理論	10単位		32単位	コース選択
	基礎実技	16単位			
				6単位	
	専攻理論		6単位	6単位	
	専攻実技		4単位	4単位	
選択領域理論・実習		30単位	30単位	(※)	
教養科目の余剰単位			(26単位)	(26単位)	
専門科目の余剰単位					
教職科目の指定科目の単位(＃)					
ゼミナール			4単位	4単位	体育スポーツ学ゼミナールは卒業研究必修
卒業研究			(2単位)		
卒業要件単位		30単位	94単位	124単位	

※) 30単位中、講義科目又は講義・演習科目から25単位以上を履修すること。

- (4) 3・4年次の専門分野の授業科目を履修するため、「専攻コース」と「ゼミナール」を選択する必要があります。詳しい内容は21～23頁の『IV-1 専攻コース』や『IV-2 ゼミナール・卒業研究』も参照してください。また、2年次の後期にオリエンテーションを実施しますので、必ず参加してください。

〈短大こどもスポーツ教育学科〉

- (1) 「授業科目表」(34～37 頁)は、授業科目名、単位数、標準履修学年、履修区分、最低修得単位数等が記載されています。
- (2) こどもスポーツ教育学科はコース制をとっており、取得希望の教員免許状・保育士資格によってコースが分かれています。幼小コースは、幼稚園教諭二種免許状又は小学校教諭二種免許状若しくは両方の免許状を取得するためのコースです。また、幼保コースは、幼稚園教諭二種免許状又は保育士資格若しくは両方の免許状・資格を取得するためのコースです。
- (3) こどもスポーツ教育学科の卒業(学位取得)に必要な単位数は 64 単位以上ですが、卒業に必要な必修科目 14 単位(34～37 頁の授業科目表の開講時期に●の表示がある授業科目)を必ず修得することが必要です。また、取得する教員免許状・保育士資格によって以下のように必要な修得単位数が異なりますので、確認をしてください。

こどもスポーツ教育学科 幼小コース (令和6年度入学)							
授業科目		幼稚園・小学校教諭		幼稚園教諭		小学校教諭	
		最低履修単位数		最低履修単位数		最低履修単位数	
教養科目	必修	13 単位	13 単位	13 単位	13 単位	13 単位	13 単位
	選択						
専門科目	必修	65 単位	66 単位	37 単位	41 単位	43 単位	47 単位
	選択必修	1 単位				1 単位	
	選択			4 単位		3 単位	
教養科目・専門科目		選択		10 単位	10 単位	10 単位	10 単位
取得要件単位		79 単位		64 単位		70 単位	

こどもスポーツ教育学科 幼保コース (令和6年度入学)							
授業科目		幼稚園教諭・保育士		幼稚園教諭		保育士	
		最低履修単位数		最低履修単位数		最低履修単位数	
教養科目	必修	13 単位	13 単位	13 単位	13 単位	9 単位	11 単位
	選択					2 単位	
専門科目	必修	67 単位	72 単位	37 単位	41 単位	54 単位	61 単位
	選択必修	5 単位				7 単位	
	選択			4 単位			
教養科目・専門科目		選択		10 単位	10 単位		
取得要件単位		85 単位		64 単位		72 単位	

Ⅲ-3 履修計画と履修登録の留意事項

履修登録は、当該年度に『どの授業科目を履修するか』を届け出る重要な手続きです。

授業科目一覧(カリキュラム表)・授業時間割表・履修ナビ等を参考に各自が履修計画を立て、ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」により履修登録することから、大学での学修が始まります。

どの科目を履修するかについては、教育課程を理解したうえで、授業科目を体系づけて履修することが必要です。また、教育職員免許状などの免許や資格を取得する場合、それらを考慮して履修計画を立てましょう。

(1) 履修登録の留意事項

履修登録に際しての留意事項は、次のとおりです。

- ① 履修登録は、学年の始めにポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」で1年間の登録を行います。
- ② 履修登録した授業科目以外は、受講することができません。
- ③ 登録していない授業科目は、試験を受けても単位は授与されません。
- ④ すでに単位を修得した授業科目は、再履修できません。
- ⑤ 授業科目の内容や授業方法等により、受講人数を制限する場合があります。
- ⑥ 上級学年に開講されている授業科目は、受講できません。
- ⑦ 必修科目は卒業に必要な科目ですので、必ず履修してください。
- ⑧ 必修科目・選択科目とも原則として自分のクラス(指定された履修クラス)の曜日・校時で履修してください。また、科目に「Ⅰ・Ⅱ」と表記のある科目は、原則として「Ⅰ」の科目を履修した後に「Ⅱ」の科目を履修します。
- ⑨ 履修登録した内容の照会は、ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」でよく確認してください。

(2) 履修手続きのポイント

- ① 所属学科の卒業要件と履修条件をよく理解し、履修計画を立てましょう。
- ② 履修ガイダンスには必ず出席し、具体的な説明や指示に沿って履修計画を立てましょう。
- ③ 履修科目の登録・確認・訂正は、卒業や資格取得に係る極めて重要な事項です。各自の責任において行ってください。
- ④ 決められた期間内に、履修登録を完了してください。期間内に手続きをしなかった科目は受講できません。

Ⅲ-4 授業時間割表の見方と自分の時間割のつくり方

- (1) 「授業科目一覧」、「授業時間割表」及び「シラバス」を参照し、自分の時間割を作るために履修したい授業科目を考えます。
- (2) 「授業時間割表」を基に自分の学年、履修クラスを間違えないように履修する授業科目を決めて、その授業科目が何曜日の何校時に開講されているかを確認します。
受講科目は、原則として自分のクラスで履修します。
- (3) 時間割表の「期」欄に「通」とあるのは通年開講の授業科目です。「前」とあるのは前期開講の授業科目、「後」とあるのは後期開講の

- (4) 「教室」欄の算用数字は教室番号、記号は体育館番号・体育実技のコート・特別教室を示しています。
- (5) 体育実技の教室欄に算用数字のあるものは、雨天時その他で使う教室番号を示しています。
- (6) 集中授業は、「授業時間割表」の右下の位置に表示されています。
- (7) 履修する授業科目とその曜日等が決まったら、ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」の履修登録画面からWEB登録を行い、登録内容に誤りがないかを確認します。

Ⅲ-5 履修登録の手続きと登録の完了

- (1) ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」による履修登録の流れ
〈前期〉

学内行事		手順	注意事項
フレッシュウィーク ・履修ガイダンス ・授業ガイダンス	履修登録 期 間 ↓	①WEB 履修登録 UNIVERSAL PASSPORT 履修登録画面	・ 年間の履修計画を立てる ・ 前期・後期の履修科目を登録する ・ 登録内容を確認する
	履修登録 確認期間	②履修登録の確認 UNIVERSAL PASSPORT 履修登録画面 ・ 修正あり → 登録修正 ・ 修正なし → 履修登録完了	・ UNIVERSAL PASSPORT にログインし、自分の履修科目が正しく登録されているかを確認する 訂正が必要な者は履修科目の登録・削除を行う ～修正対象者～ ・ 未登録の科目があった ・ 履修科目にエラーがあった ・ 履修登録内容が正しくない

- 〈後期〉

学内行事		手順	注意事項
オリエンテーション ・授業ガイダンス	履修登録 修正期間 ↓	①履修登録の修正 ・ 修正あり → 登録修正 ・ 修正なし → 手続き必要なし	・ 後期の履修計画を見直す ・ UNIVERSAL PASSPORT にログインし、自分の履修科目が正しく登録されているかを確認する
	履修登録 確認期間	②履修登録の確認 ・ 修正あり → 登録修正 ・ 修正なし → 履修登録完了	・ 訂正が必要な者は履修科目の登録・削除を行う ～修正対象者～ ・ 未登録の科目があった ・ 履修科目にエラーがあった ・ 履修登録内容が正しくない

(2) 履修登録の追加取消等

① 履修登録の確認

(前期・後期)

履修登録締切り後には、再度、履修登録した科目を確認し、修正できる期間を設けています。自分の履修登録状況を再度、ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」内の「学生時間割表」にて、自分の登録した科目に誤りがないかを必ず確認してください。

履修科目にエラーがあったり、履修科目が正しく反映されていなかったりした場合は、「UNIVERSAL PASSPORT」にログインし、自分の履修科目に正しく訂正してください。

② 履修登録の取消

(前期・後期)

履修登録した科目で科目内容が自分の期待するものと異なっていたり、自分の関心に変化が生じたりした場合は、学期の途中で科目登録の取消ができます。また、出席不足で単位を修得できる見込みがない科目の取消も可能です。ただし、むやみに取消をすると、卒業要件単位に比べ修得単位数が著しく不足することがあるので十分に注意することが必要です。

履修登録の取消を希望する場合は、教務課窓口で相談の上、「履修取消願」を指定する期間内に提出してください。

③ 履修科目の修正

(後期)

前期に履修登録した後期の授業科目について、このままでは履修計画上有問題がある場合に、科目を追加又は取消することができます。ただし、むやみに履修計画を変更すると卒業が危ぶまれることがあるので、十分考慮した上で、自分の責任において行ってください。

IV その他

IV-1 専攻コース

大学3年次は、全員いずれかの専攻コースに所属し、専門分野について学修を深め、その力量を高めていくこととなります。各専攻コースの特色と学修の内容は次のとおりです。

教職体育学専攻コース

『学校教育のさまざまな問題をとらえ追求する』

児童、生徒を教え導く教職に就くためのより高度な専門知識を学び、体育学の知識・技術の習得はもちろん教職に関する総合的な教師力と実践的指導力を身に付けます。

1・2年次で単位を修得しておく科目

〈専門科目〉

スポーツ原理 / スポーツ心理学 / 生理学 / スポーツ史 / 運動学(含運動方法) / 衛生学及び公衆衛生学 / スポーツ医学(含む救急法、看護法) / スポーツ生理学/基礎実技など

〈教職科目〉

教職論 / 教育原理 / 教育行政 / 教育心理学 / 教育課程論 / 教育相談など

3・4年次で単位を修得する科目

〈専攻理論〉

体育科教育学/ 未来の学校教育実践論 / 学校ネットワーク論 / 体育カリキュラム論

〈専攻実技〉

学校体験学習

下記種目の指導方法及び実習

体づくり運動 / 器械運動 / 陸上競技 / 球技
水泳 / ダンス / 武道

スポーツ健康学専攻コース

『スポーツと健康・体力について深く追求する』

健康・体力づくりに関する知識や効果的な運動を個人に処方できる能力の向上を目指して学習します。運動やスポーツと、体力や健康との関わりについて科学的に理解を深め、運動処方やリハビリテーションなど、一人ひとりのニーズに対応できる実践的指導力を身に付けます。

1・2年次で単位を修得しておく科目

〈専門選択〉

発育発達論 / 運動器機能解剖 / スポーツ医学(含救急法・看護法) / スポーツ生理学
トレーニング概論 / バイオメカニクス
アスレティックコンディショニング
データサイエンス / 体カトレーニング実習
など

3・4年次で単位を修得する科目

〈専攻理論〉

運動処方論/予防医学/アダプテッドスポーツ論 / 行動栄養学

〈専攻実技〉

健康体力づくり指導方法及び実習

体力評価の理論と実習/健康評価の理論と実習

スポーツリハビリテーション演習

健康運動トレーニング演習

健康マラソン・ウォーキング実習 / 健康づくり
体験実習

(卒業単位に含まない資格関連科目)

スポーツ健康学実習 / スポーツ関連施設実習

コーチング学専攻コース

『一つのことを深く追求する』

専門的な競技力と指導力の向上について学修します。個人の能力に合わせたマンツーマンの指導を基本として、個人にとって最高の技能を引き出すための指導法について学び、自らも専門技能あるいは特技の熟練に向かう努力をしながら、最高の技術を教えることのできる実践的指導力を身に付けます。

1・2年次で単位を修得しておく科目

〈専門選択〉

運動学(含運動方法) / コーチング論 / スポーツ生理学/スポーツ医学(含救急法・看護法)
トレーニング概論 / 体カトレーニング実習
アスレティックコンディショニング
バイオメカニクス など

〈基礎実技〉

器械運動Ⅱa・b / 陸上競技Ⅱa・b
ダンスⅡa・b / 球技(ソフトボール)
球技(ハンドボール) など

※6単位以上修得していることが望ましい。

3・4年次で単位を修得する科目

〈専攻理論〉

スポーツ技術論 / スポーツ戦術論 / 運動観察論
/ アドバンストコーチング論

〈専攻実技〉

コーチング論(競技論・表現論) / コーチング論及び実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

※ 新体操競技 / 体操競技 / 陸上競技

バレーボール / バスケットボール / ハンドボール / ソフトボール / 柔道 / 剣道 / ダンスから1種目を選択

スポーツマネジメント学専攻コース

『多くのことを幅広く追求する』

1・2年次に修得した基礎技能や知識を指導に生きる知恵へと発展させます。教育としての体育・スポーツの意味を深く理解し、社会に適応した幅広いマネジメント能力を育成します。学校体育をはじめとして、子どもから高齢者まであらゆる世代の運動指導にも、地域社会において幅広く対応できる実践的指導力を身に付けます。

1・2年次で単位を修得しておく科目

〈専門選択〉

スポーツ原理 / スポーツ心理学Ⅰ / スポーツ生
理学 / スポーツ栄養学Ⅰ / スポーツ法学
/ 野外教育論 / データサイエンス など

〈基礎実技〉

体づくり運動Ⅰa・b / 武道(柔道・剣道)
器械運動Ⅱa・b / 陸上競技Ⅱa・b
ダンスⅡa・b / 球技(ソフトボール)
球技(ハンドボール) など

3・4年次で単位を修得する科目

〈専攻理論〉

スポーツ社会学 / スポーツ行政学 / スポーツ
産業論 / アウトドアスポーツ論

〈専攻実技〉

部活動マネジメント演習 / 地域スポーツ演習
/ スポーツイベント・企画演習 / アウトドアス
ポーツ演習

IV-2 ゼミナール・卒業研究

(1) ゼミナール・卒業研究

大学3年次から4年次の2年間、全学生がゼミナールに所属します。ゼミナールは、少人数のクラスに分かれて、指導教員のもとで自分がより深く学びたいことを本格的に研究・実践できる場です。「**体育・スポーツ学**」、「**教育学**」、「**教養教育**」の3分野に区分されており、分野ごとに複数の学問領域のゼミナールが用意されています。ゼミナール名は、表1の領域名になります。

ゼミナールの所属は、2年次の11月に各学生の希望を調査し、人数等を調整したうえで決定されます。2年次の早いうちから、自分がより深く学びたい学問領域は何か、専門性に磨きをかけたいことは何なのかを考えておくことが必要です。

卒業研究は、4年次にゼミナールの指導教員の指導を受けながら、各自の研究テーマについて研究を行い、その成果（論文）を提出し評価を受けるもので、12月には卒業研究発表会において発表を行います。

なお、卒業研究は、「体育・スポーツ学」ゼミナールにおいて必修です。一方、「教育学」ゼミナール、「教養教育」ゼミナールでは選択ですので、指導教員と相談し卒業研究を行うかどうかを決定することになります。

表1 《分野》 体育・スポーツ学

分科	細目	領域(ゼミ名)	
体育学	体育・スポーツ文化	身体性哲学	
		体育・スポーツ哲学	
		体育・スポーツ史	
	スポーツ経営・政策	体育・スポーツ社会学	
		体育・スポーツ行政学	
	体育・スポーツ教育	体育・スポーツ教育学	
体育・スポーツ心理学			
コーチング学	一般コーチング学	コーチング原論	
		スポーツ運動学	
		トレーニング方法論	
		バイオメカニクス	
	個別コーチング学	体操・体づくり運動	体操・体づくり運動
			新体操競技
			器械運動・体操競技
			陸上競技
			水 泳
		球 技	バレーボール
			バスケットボール
			ハンドボール
			ソフトボール
		武 道	柔道
剣道			
ダンス	舞踊		
野外運動			
スポーツ健康学	体育・スポーツ生命科学	健康教育学	
		発育・発達学	
		スポーツ生理学	
		スポーツ栄養学	
		体育・スポーツ測定評価学	
	体育・スポーツ医学	スポーツ医学	
		体育・スポーツ解剖学	
		運動処方論	
		アスレティック・リハビリテーション	
		アダプティッド・スポーツ	

《分野》 教育学

細目	領域(ゼミ名)
学校教育・ 幼児教育	教育原理
	教育行政
	教育心理
	道德教育
	特別活動
	教育工学
	教育相談
	生徒指導
	幼児教育
	社会福祉
	保育実践
	保育内容
	社会科教育

《分野》 教養教育

細目	領域(ゼミ名)
人文科学	国文学
	英文学
自然科学	理科
社会科学	社会
芸術	美術
	音楽

(2) ゼミナール・卒業研究の単位

分野 項目	① 体育・スポーツ学 ゼミナール	② 教育学 ゼミナール	③ 教養教育 ゼミナール
卒業研究の有無	(必須) <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業研究 ・ 抄録作成 ・ 研究発表 	(選択制) ◇ 4年進級時まで、指導教員と相談の上決定する。 ↓ ↓ * 卒研を選択した場合 * 卒研を選択しない場合 ↓ ↓ <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業研究 ・ 抄録作成 ・ 研究発表 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究発表のみ (選択制) 	
履修単位 《ゼミナール》	3年次 ゼミナール <ul style="list-style-type: none"> ゼミナールⅠa(前期) : 1単位 ゼミナールⅠb(後期) : 1単位 	3年次 ゼミナール <ul style="list-style-type: none"> ゼミナールⅠa(前期) : 1単位 ゼミナールⅠb(後期) : 1単位 	3年次 ゼミナール <ul style="list-style-type: none"> ゼミナールⅠa(前期) : 1単位 ゼミナールⅠb(後期) : 1単位
《卒業研究》	4年次 ゼミナール+卒研 <ul style="list-style-type: none"> ゼミナールⅡa(前期) : 1単位 ゼミナールⅡb(後期) : 1単位 卒業研究 : 2単位 	4年次 ゼミナール+卒研 <ul style="list-style-type: none"> ゼミナールⅡa(前期) : 1単位 ゼミナールⅡb(後期) : 1単位 卒業研究 : 2単位 	4年次 ゼミナール <ul style="list-style-type: none"> ゼミナールⅡa(前期) : 1単位 ゼミナールⅡb(後期) : 1単位
	最低修得単位数 6単位	最低修得単位数 6単位	最低修得単位数 4単位

IV-3 履修体系[大学]・進路希望に即した履修モデル[短期大学]

東京女子体育大学体育学部体育学科履修体系

分野	区分	履修単位	1年次	履修単位	2年次	履修単位	3年次	履修単位	4年次
教養科目	必修	4	藤村トヨの教育 国語基礎講座 キャリアデザイン						
	選択必修	2	★外国語コミュニケーション(英語)Ⅰ・Ⅱ ★外国語コミュニケーション(独語)Ⅰ・Ⅱ ★外国語コミュニケーション(仏語)Ⅰ・Ⅱ						
	選択	1~4年 16単位以上	文学と人間 美と芸術 ★情報リテラシー 数と思考 自然と生命 歴史と人間 音と芸術	★日本国憲法 思想と人間観 生活と経済 女性と生活 社会と人間 英語表現Ⅰ・Ⅱ キャリアデザイン	海外英語・文化講座	ボランティア理論	ボランティア実習		
専門基礎実技	必修	10	★スポーツ原理 ★スポーツ心理学Ⅰ ★生理学 スポーツ栄養学Ⅰ ★スポーツ史						
	必修	14	★体づくり運動Ⅰa・Ⅰb ★器械運動Ⅰa・Ⅰb ★陸上競技Ⅰa・Ⅰb ★ダンスⅠa・Ⅰb ★水泳Ⅰa・Ⅰb ★球技(バレーボール) ★球技(バスケットボール) ★武道(柔道) ★武道(剣道)	新体操Ⅰ・Ⅱ					
	選択必修	6		器械運動Ⅱa・Ⅱb 陸上競技Ⅱa・Ⅱb ダンスⅡa・Ⅱb 球技(フットボール) 球技(バドミントン)					
専攻理論	選択必修	6							
	選択必修	6							
	選択必修	6							
専門実習	選択必修	4							
	選択必修	2							
	選択必修	2							
選択領域理論・実習	選択	1~4年 30単位以上	運動器機能解剖 ★衛生学及び公衆衛生学	★運動学(含運動方法) コーチング論 スポーツ法学 発育発達論 レジャー・レクリエーション概論 ★スポーツ医学(含救急法、看護法) ★スポーツ生理学 トレーニング概論 バイオメカニクス 野外教育論 データサイエンス アスレティックコンディショニング 体力トレーニング実習 エアロビックダンス キャンプ スキー					
	選択	2							
	選択	2							

注) ★印は、教育職員免許状取得希望者の必修科目

分野	区分	履修単位	1年次	履修単位	2年次	履修単位	3年次	履修単位	4年次
教職科目	教免必修	4	教職論 #生徒指導論(含進路指導)	11	教育原理 教育行政学 教育心理学 #教育課程論 #保健体育科教育法Ⅰ #保健指導研究 教育相談 総合的な学習の時間の指導法	15	特別支援教育概論 #保健体育科教育法Ⅱ #体育実技指導研究 道徳の指導法 特別活動の指導法 #教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)	7	教職実践演習 教育実習

注) #印は、卒業に必要な単位数に含めることができる指定科目

進路希望に即した履修モデル

東京女子体育短期大学 こどもスポーツ教育学科

履修モデル：幼小コース（小学校教諭）

小学校教諭免許状を取得し、小学校教員を目指す学生のための履修モデル

分野	区分	履修 単位	1 年 次	履修 単位	2 年 次		
教養科目	必修	7	藤村トヨの教育 キャリアデザイン 国語基礎講座 野外活動演習 情報機器演習Ⅰ・Ⅱ	6	日本国憲法 外国語コミュニケーション(英語)Ⅰ・Ⅱ 体育理論 体育実技(含水泳)		
	選択		海外英語・文化講座 地域社会とボランティア 自然科学入門		児童と文学 思想と人間観 社会と人間 海外英語・文化講座 自然と生命		
専門科目	教科	必修	9	国語(含書写) 社会 算数 音楽A 図画工作Ⅰ 体育Ⅰ	2	理科	
		選択		生活 音楽BⅠ・Ⅱ 図画工作Ⅱ		家庭 小学校英語 音楽BⅢ・Ⅳ 体育Ⅱ	
	基礎理論	必修	4	教師論 教育原理(含学校の制度と経営)			
	対象理解	必修	2	発達心理学			
	内容・方法	総論	必修		2	教育課程論	
		教育内容指導法	必修	7	国語科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅰ 算数科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅰ 音楽科教育法Ⅰ 図画工作科教育法Ⅰ 体育科教育法Ⅰ	3	道徳の指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法
			選択			1	国語科教育法Ⅱ 社会科教育法Ⅱ 算数科教育法Ⅱ 理科教育法Ⅱ 生活科教育法Ⅰ 家庭科教育法Ⅰ 音楽科教育法Ⅱ 図画工作科教育法Ⅱ 体育科教育法Ⅱ 小学校英語教育法Ⅰ
		内容方法各論	必修	2	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)	5	特別支援教育概論 教育相談 生徒指導論(含進路指導)
			選択				レクリエーション演習
	実践演習	必修			2	教職実践演習	
	実習	必修			5	教育実習(幼・小)	
	専門科目(選択)				3		
	教養・専門科目(選択)				10		
最低履修単位数				70			

履修モデル：幼小コース（幼稚園教諭・小学校教諭）

幼稚園教諭と小学校教諭の両方の免許状を取得し、幼児から児童教育の幅広い授業科目の履修を希望する学生のための履修モデル

分野	区分	履修 単位	1 年 次	履修 単位	2 年 次		
教養科目	必修	7	藤村トヨの教育 キャリアデザイン 国語基礎講座 野外活動演習 情報機器演習Ⅰ・Ⅱ	6	日本国憲法 外国語コミュニケーション(英語)Ⅰ・Ⅱ 体育理論 体育実技(含水泳)		
	選択		海外英語・文化講座 地域社会とボランティア 自然科学入門		児童と文学 思想と人間観 社会と人間 海外英語・文化講座 自然と生命		
専門科目	教科	必修	14	国語(含書写) 社会 算数 音楽A・BⅠ 図画工作Ⅰ 体育Ⅰ 子どもと健康 子どもと環境 子どもと人間関係 子どもと表現	4	総合表現(創作オペレッタ) 理科	
		選択		生活 音楽BⅡ 図画工作Ⅱ 子どもの造形と遊び 子どもの運動a・b 子どもの身体表現a・b		家庭 小学校英語 音楽BⅢ・Ⅳ 体育Ⅱ リズム遊び(含リトミック) 子どもの野外活動	
	基礎理論	必修	4	教師論 教育原理(含学校の制度と経営)	2	保育者・教師論	
	対象理解	必修	2	発達心理学	1	幼児理解	
		選択				子どもの身体学	
	内容・方法	総論	必修		5	教育課程論 保育・教育課程論 保育内容総論	
		教育内容指導法	必修	11	国語科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅰ 算数科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅰ 音楽科教育法Ⅰ 図画工作科教育法Ⅰ 体育科教育法Ⅰ 保育内容(人間関係)指導法 保育内容(環境)指導法 保育内容(言葉)指導法 保育内容(身体表現)指導法	6	保育内容(健康)指導法 保育内容(音楽表現)指導法 保育内容(造形表現)指導法 道徳の指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法
			選択必修			1	国語科教育法Ⅱ 社会科教育法Ⅱ 算数科教育法Ⅱ 理科教育法Ⅱ 生活科教育法Ⅰ 家庭科教育法Ⅰ 音楽科教育法Ⅱ 図画工作科教育法Ⅱ 体育科教育法Ⅱ 小学校英語教育法Ⅰ
		内容方法各論	必修	2	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)	5	特別支援教育概論 教育相談 生徒指導論(含進路指導)
			選択				レクリエーション演習
	実践演習	必修			4	教職実践演習 保育・教職(幼稚園)実践演習	
	実習	必修			5	教育実習(幼・小)	
	最低履修単位数				79		

東京女子体育短期大学 こどもスポーツ教育学科

履修モデル：幼小コース・幼保コース（幼稚園教諭）

幼稚園教諭免許状を取得し、幼稚園教員を目指す学生のための履修モデル

分野	区分	履修単位	1 年 次	履修単位	2 年 次		
教養科目	必修	7	藤村トヨの教育 キャリアデザイン 国語基礎講座 野外活動演習 情報機器演習Ⅰ・Ⅱ	6	日本国憲法 外国語コミュニケーション(英語)Ⅰ・Ⅱ 体育理論 体育実技(含水泳)		
	選択		海外英語・文化講座 地域社会とボランティア 自然科学入門		児童と文学 思想と人間観 社会と人間 海外英語・文化講座 自然と生命		
専門科目	教科・領域	必修	6	音楽A・BⅠ 子どもと健康 子どもと環境 子どもと人間関係 子どもと表現	2	総合表現(創作オペレッタ)	
		選択		音楽BⅡ 子どもの造形と遊び 子どもの運動a・b 子どもの身体表現a・b		音楽BⅢ・Ⅳ リズム遊び(含リトミック) 子どもの野外活動	
	基礎理論	必修	2	教育原理(含学校の制度と経営)	2	保育者・教師論	
	対象理解	必修	2	発達心理学	1	幼児理解	
	内容・方法	総論	必修		3	保育・教育課程論 保育内容総論	
		容教育 法指導内	必修	4	保育内容(人間関係)指導法 保育内容(環境)指導法 保育内容(言葉)指導法 保育内容(身体表現)指導法	3	保育内容(健康)指導法 保育内容(音楽表現)指導法 保育内容(造形表現)指導法
		法内各 論方	必修	2	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)	3	特別支援教育 教育相談
	実践演習	必修				レクリエーション演習	
	実習	必修			5	保育・教職(幼稚園)実践演習 教育実習(幼稚園)Ⅰ・Ⅱ	
	専門科目(選択)				4		
教養・専門科目(選択)				10			
最低履修単位数				62			

履修モデル：幼保コース（幼稚園教諭・保育士）

幼稚園教諭免許状と保育士資格の両方を取得し、幼稚園教諭または保育士を目指す学生のための履修モデル

分野	区分	履修単位	1 年 次	履修単位	2 年 次		
教養科目	必修	7	藤村トヨの教育 キャリアデザイン 国語基礎講座 野外活動演習 情報機器演習Ⅰ・Ⅱ	6	日本国憲法 外国語コミュニケーション(英語)Ⅰ・Ⅱ 体育理論 体育実技(含水泳)		
	選択		海外英語・文化講座 地域社会とボランティア 自然科学入門		児童と文学 思想と人間観 社会と人間 海外英語・文化講座 自然と生命		
専門科目	教科	必修	6	音楽A・BⅠ 子どもと健康 子どもと環境 子どもと人間関係 子どもと表現	2	総合表現(創作オペレッタ)	
		選択		音楽BⅡ 子どもの造形と遊び 子どもの運動a・b 子どもの身体表現a・b		音楽BⅢ・Ⅳ リズム遊び(含リトミック) 子どもの野外活動	
	基礎理論	必修	8	教育原理(含学校の制度と経営) 保育原理 子ども家庭福祉 社会福祉	6	保育者・教師論 子ども家庭支援論 社会的養護Ⅰ	
		選択必修#				児童福祉施設研究	
	対象理解	必修	6	発達心理学 子どもの保健 子どもの食と栄養	3	子ども家庭支援の心理学 幼児理解	
		選択必修#				こども学 子ども身体学	
	内容・方法	総論	必修		3	保育・教育課程論 保育内容総論	
		教育 指導内 容	必修	4	保育内容(人間関係)指導法 保育内容(環境)指導法 保育内容(言葉)指導法 保育内容(身体表現)指導法	3	保育内容(健康)指導法 保育内容(音楽表現)指導法 保育内容(造形表現)指導法
		内容各 論方 法	必修	4	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む) 障害児保育Ⅰ・Ⅱ(含特別支援教育)	9	乳児保育Ⅰ・Ⅱ 子どもの健康と安全 教育相談 特別支援教育概論 社会的養護Ⅱ 子育て支援
	実践演習	必修			2	レクリエーション演習	
実習	必修			5	保育・教職(幼稚園)実践演習		
	必修	6	保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設)		教育実習(幼稚園)Ⅰ・Ⅱ		
	選択必修b				保育実習指導Ⅱ・保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅲ・保育実習Ⅲ		
専門科目(選択必修#)				2			
専門科目(選択必修b)				3	(Ⅱ又はⅢのいずれかを選択)		
最低履修単位数				85			

保育士資格を取得し、保育士を目指す学生のための履修モデル

分野	区分	履修 単位	1 年 次	履修 単位	2 年 次		
教養科目	必修	6	藤村トヨの教育 キャリアデザイン 国語基礎講座 野外活動演習 情報機器演習 I	3	外国語コミュニケーション(英語) I 体育理論 体育実技(含水泳)		
	選択		海外英語・文化講座 地域社会とボランティア 自然科学入門	2	児童と文学 思想と人間観 社会と人間 海外英語・文化講座 自然と生命		
専門科目	教科	必修	5	音楽A 子どもと健康 子どもと環境 子どもと人間関係 子どもと表現	2	総合表現(創作オペレッタ)	
		選択		音楽B I 音楽B II 子どもの造形と遊び 子どもの運動 a・b 子どもの身体表現 a・b		音楽B III・IV リズム遊び(含リトミック) 子どもの野外活動	
	基礎理論	必修	8	教育原理(含学校の制度と経営) 保育原理 子ども家庭福祉 社会福祉	6	保育者・教師論 子ども家庭支援論 社会的養護 I	
		選択必修#				児童福祉施設研究	
	対象理解	必修	6	発達心理学 子どもと保健 子どもと食と栄養	3	子ども家庭支援の心理学 幼児理解	
		選択必修#				子ども学 子どもの身体学	
	内容・方法	総論	必修		3	保育・教育課程論 保育内容総論	
		指導内容	必修	4	保育内容(人間関係)指導法 保育内容(環境)指導法 保育内容(言葉)指導法 保育内容(身体表現)指導法	1	保育内容(健康)指導法
			選択必修#				保育内容(造形表現)指導法 保育内容(音楽表現)指導法
		内容方法	必修	2	障害児保育 I・II (含特別支援教育)	6	乳児保育 I・II 子どもと健康と安全 社会的養護 II 子育て支援
	選択			教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)		レクリエーション演習 教育相談	
	実践演習	必修			2	保育・教職(幼稚園)実践演習	
	実習	必修	6	保育実習指導 I 保育実習 I (保育所) 保育実習 I (施設)			
		選択必修 b				保育実習指導 II・保育実習 II 保育実習指導 III・保育実習 III	
	専門科目(選択必修#)				4		
	専門科目(選択必修 b)				3	(II 又は III のいずれかを選択)	
最低履修単位数				72			

東京女子体育大学体育学部(平成27年度改定カリキュラム)

半期	集中授業(学内・学外)
○	◎

(令和6年度入学生)

授業科目	単位	標準履修学年				履修区分	最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年			
藤村トヨの教育	講義・演習	1	○				必修	4単位
国語基礎講座	講義	2	○					
キャリアデザイン	講義・演習	1	○					
思想と人間観	講義	2		○				
文学と人間	講義	2	○				選択	16単位
数と思考	講義	2	○					
自然と生命	講義	2	○					
歴史と人間	講義	2	○					
日本国憲法	※ 講義	2		○				
情報リテラシー	※ 講義	2	○					
生活と経済	講義	2		○				
音と芸術	講義	2	○					
美と芸術	講義	2	○					
女性と生活	講義	2		○				
社会と人間	講義	2		○				
ボランティア理論	講義	1			◎			
ボランティア実習	実習	1			◎			
キャリアトレーニング	実習	1		◎				
インターンシップ	実習	1			◎			
英語表現Ⅰ	演習	1		○				
英語表現Ⅱ	演習	1		○				
海外英語・文化講座(隔年開講)	演習	2			◎			
外国語コミュニケーション(英語)Ⅰ	※ 演習	1	○				選択	2単位
外国語コミュニケーション(英語)Ⅱ	※ 演習	1	○					
外国語コミュニケーション(独語)Ⅰ	※ 演習	1	○					
外国語コミュニケーション(独語)Ⅱ	※ 演習	1	○					
外国語コミュニケーション(仏語)Ⅰ	※ 演習	1	○					
外国語コミュニケーション(仏語)Ⅱ	※ 演習	1	○					

計 22 単位

基礎理論	スポーツ原理	※ 講義	2	○			必修	10単位	※印は、教育職員免許状取得希望者の必修科目
	スポーツ心理学Ⅰ	※ 講義	2	○					
	生理学	※ 講義	2	○					
	スポーツ栄養学Ⅰ	講義	2	○					
専門に関する科目	スポーツ史	※ 講義	2	○			必修	16単位	Ⅰa・Ⅰbは連続履修 ※印は、教育職員免許状取得希望者の必修科目
	体づくり運動Ⅰa	※ 実技・講義	1	○					
	体づくり運動Ⅰb	※ 実技・講義	1	○					
	器械運動Ⅰa	※ 実技・講義	1	○					
	器械運動Ⅰb	※ 実技・講義	1	○					
	陸上競技Ⅰa	※ 実技・講義	1	○					
	陸上競技Ⅰb	※ 実技・講義	1	○					
	ダンスⅠa	※ 実技・講義	1	○					
	ダンスⅠb	※ 実技・講義	1	○					
	水泳Ⅰa	※ 実技・講義	1	○					
	水泳Ⅰb	※ 実技・講義	1	○					
	球技(バレーボール)	※ 実技・講義	1	○					
	球技(バスケットボール)	※ 実技・講義	1	○					
	武道(柔道)	※ 実技・講義	1	○					
	武道(剣道)	※ 実技・講義	1	○					
	新体操Ⅰ	実技・講義	1		○				
	新体操Ⅱ	実技・講義	1		○				
	器械運動Ⅱa	実技・講義	1		○		選択	6単位	Ⅱa・Ⅱbは単独履修可
	器械運動Ⅱb	実技・講義	1		○				
	陸上競技Ⅱa	実技・講義	1		○				
陸上競技Ⅱb	実技・講義	1		○					
ダンスⅡa	実技・講義	1		○					
ダンスⅡb	実技・講義	1		○					
球技(ソフトボール)	実技・講義	1		○					
球技(ハンドボール)	実技・講義	1		○					

計 32 単位

授 業 科 目		単 位	標 準 履 修 学 年				履修 区分	最低修得 単 位 数	備 考		
			1年	2年	3年	4年					
専門に関する科目	専攻理論	体育科教育学	講義	2			○		コース選択 1コースを選択し 6単位		
		学校ネットワーク論	講義	2				○			
		未来の学校教育実践論	講義	2			○				
		体育カリキュラム論	講義	2			○				
		予防医学	講義	2			○				
		運動処方論	講義	2			○				
		行動栄養学	講義	2			○				
		アダプテッドスポーツ論	講義	2				○			
		スポーツ技術論	講義	2			○				
		スポーツ戦術論	講義	2			○				
		運動観察論	講義	2			○				
		アドバンストコーチング論	講義	2				○			
		スポーツ行政学	講義	2			○				
		スポーツ社会学	講義	2			○				
スポーツ産業論	講義	2				○					
アウトドアスポーツ論	講義	2			○						
専門に関する科目	専攻実習	学校体験学習	演習	1			◎		コース選択 理論と同じ1コースを選択し、 4単位 卒業単位に含めない 1つの競技種目を選択し、 競技論・表現論、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを 連続履修すること。		
		体づくり運動指導方法及び実習	演習	1			○				
		器械運動指導方法及び実習	演習	1			○				
		陸上競技指導方法及び実習	演習	1			○				
		球技指導方法及び実習（バレー・ソフト）	演習	1			○				
		球技指導方法及び実習（バスケ・ハンド）	演習	1			○				
		水泳指導方法及び実習	演習	1			○				
		ダンス指導方法及び実習	演習	1			○				
		武道指導方法及び実習（柔道・剣道）	演習	1			○				
		体力評価の理論と実習	演習	2			○				
		健康評価の理論と実習	演習	2			○				
		健康体力づくり指導方法及び実習	演習	1				○			
		スポーツリハビリテーション演習	演習	1				○			
		健康運動トレーニング演習	演習	2				○			
		健康マラソン・ウォーキング実習	演習	1			○				
		健康づくり体験実習	演習	1			◎				
		スポーツ健康学実習（健康運動指導士資格関連）	演習	1				◎			
		スポーツ関連施設実習（健康運動指導士資格関連）	演習	1				◎			
		新体操競技コーチング論及び実習（競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）	講義・演習	4			○	○		○	○
		体操競技コーチング論及び実習（競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）	講義・演習	4			○	○		○	○
		陸上競技コーチング論及び実習（競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）	講義・演習	4			○	○		○	○
		バレーボールコーチング論及び実習（競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）	講義・演習	4			○	○		○	○
		バスケットボールコーチング論及び実習（競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）	講義・演習	4			○	○		○	○
ハンドボールコーチング論及び実習（競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）	講義・演習	4			○	○	○	○			
ソフトボールコーチング論及び実習（競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）	講義・演習	4			○	○	○	○			
柔道コーチング論及び実習（競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）	講義・演習	4			○	○	○	○			
剣道コーチング論及び実習（競技論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）	講義・演習	4			○	○	○	○			
ダンスコーチング論及び実習（表現論・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）	講義・演習	4			○	○	○	○			
部活動マネジメント演習	演習	2				○					
地域スポーツ演習	演習	2				○					
スポーツイベント・企画演習	演習	2				○					
アウトドアスポーツ演習	演習	2				◎					

計 10 単位

授業科目	単位	標準履修学年				履修区分	最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年			
スポーツ経営管理学 ◇	講義 2			○		選択必修	30単位以上	講義科目又は講義・演習科目から25単位以上を履修すること ※印は、教育職員免許状取得希望者の必修科目 ◇印は、教育職員免許状取得希望者は2科目中1科目以上を選択
運動学(含運動方法) ※	講義 2		○					
コーチング論	講義 2		○					
スポーツ法学	講義 2		○					
発育発達論	講義 2		○					
身体学	講義 2			○				
レジャー・レクリエーション概論	講義 2		○					
運動器機能解剖	講義 2	○						
衛生学及び公衆衛生学 ※	講義 2	○						
スポーツ医学(含救急法,看護法) ※	講義 2		○					
スポーツ生理学 ※	講義 2		○					
体育測定・統計	講義 2			○				
トレーニング概論	講義 2		○					
学校保健(含小児保健,精神保健,学校安全) ※	講義 2			○				
学校とスポーツの安全	講義 2			○				
学校体育経営論 ◇	講義 2			○				
スポーツ心理学Ⅱ(カウンセリング)	講義 2			○				
バイオメカニクス	講義 2		○					
地域スポーツ経営論	講義 2				○			
アスレティックコンディショニング	講義 1		◎					
野外教育論	講義 2		○					
データサイエンス	講義・演習 1		○					
舞踊教育論及び実習	講義・演習 1			○				
音楽効果論及び実習	講義・演習 1			○				
体力トレーニング実習	演習 1		○					
レクリエーションゲーム	演習 1			○				
ニュースポーツ	演習 1				○			
コンテンポラリーダンス(含ストリートダンス)	演習 1			○				
民族舞踊(含バレエ)	演習 1			○				
体育ダンス(含民俗舞踊)	演習 1			○				
エアロビックダンス	演習 1		○					
カヌー	演習 1				◎			
スノーボード	演習 1				◎			
キャンプ	演習 1		◎					
スキー	演習 1		◎					
海浜実習	演習 1				◎			
教養科目の科目のうち、最低修得単位数を超えて履修した科目							選択領域理論・実習と合わせて56単位	
専門に関する科目のうち、最低修得単位数を超えて履修した科目								
教職に関する科目のうち、指定科目から履修した科目(＃)								
計							56 単位	

授業科目	単位	標準履修学年				履修区分	最低修得単位数	備考		
		1年	2年	3年	4年					
専門に関する科目	体育・スポーツ学ゼミナールⅠa	演習	1		○		4 単位	体育・スポーツ学ゼミナール、教育学ゼミナール及び教養教育ゼミナールの中から1つのゼミナールを選択し、Ⅰa、Ⅰb、Ⅱa、Ⅱbを連続履修する。		
	体育・スポーツ学ゼミナールⅠb	演習	1		○					
	体育・スポーツ学ゼミナールⅡa	演習	1			○				
	体育・スポーツ学ゼミナールⅡb	演習	1			○				
	教育学ゼミナールⅠa	演習	1		○					
	教育学ゼミナールⅠb	演習	1		○					
	教育学ゼミナールⅡa	演習	1			○				
	教育学ゼミナールⅡb	演習	1			○				
	教養教育ゼミナールⅠa	演習	1		○					
	教養教育ゼミナールⅠb	演習	1		○					
	教養教育ゼミナールⅡa	演習	1			○				
	教養教育ゼミナールⅡb	演習	1			○				
	卒業研究	演習	2			○				体育・スポーツ学ゼミナールを選択した場合は必修とする。

計 4 単位

卒業に必要な最低修得単位数

合計 124 単位

授業科目	単位	標準履修学年				履修区分	最低修得単位数	備考
		1年	2年	3年	4年			
教職に関する科目	教職論	講義	2	○			18科目 37単位	#印は、卒業に必要な単位数に含めることができる指定科目
	教育原理	講義	2		○			
	教育行政学	講義	2		○			
	教育心理学	講義	2		○			
	特別支援教育概論	講義	1			○		
	教育課程論 #	講義	2		○			
	保健体育科教育法Ⅰ #	講義	2		○			
	保健体育科教育法Ⅱ #	講義	2			○		
	体育実技指導研究 #	講義	2			○		
	保健指導研究 #	講義	2		○			
	道徳の指導法	講義	2			○		
	総合的な学習の時間の指導法	講義	1		○			
	特別活動の指導法	講義	2			○		
	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む) #	講義	2			○		
	生徒指導論(含進路指導) #	講義	2		○			
	教育相談	講義	2		○			
	教職実践演習	演習	2			○		
	教育実習	実習	5			◎		

注1) #印は、卒業に必要な単位数に含めることができる指定科目

注2) ※印は、教職免許状取得希望者の必修科目

注3) ◇印は、教職免許状取得希望者が2科目中、1科目2単位以上の修得を必要とする科目

注4) 標準履修学年・開講期(前期・後期)は、時間割り編成等の理由により変更することがある。

※平成27年度全面改正

※平成28年度一部改正 注3)の新設、科目名称の変更「道徳の指導法」「特別活動の指導法」

※平成29年度一部改正 ゼミナール履修区分名称及び卒業研究の取り扱い

※平成29年度一部改正 「社会体育・健康産業等施設実習」 単位数 実習3→実習2に変更 卒業認定単位に含めない。

※平成29年度一部改正 ゼミナール履修区分名称及び卒業研究の取り扱い

※平成31年度一部改正 「特別支援教育概論」「総合的な学習の時間の指導法」科目新設

※令和2年度一部改正 「スポーツ経営管理学」「学校体育経営論」◇選択条件削除

※令和3年度一部改正 「環境と自然の保全」を「自然と生命」に科目変更

※令和4年度一部改正 「教育方法(含情報機器及び教材の活用)」を「教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)」に科目変更

※令和5年度一部改正 「教職体育学専攻コース」を新設、「体育学専攻コース」を「スポーツマネジメント学専攻コース」に変更

※令和5年度一部改正 「スポーツ経営管理学」「学校体育経営論」◇選択条件追加

(R7カリキュラムに則して、専攻コースの科目を変更。それに伴い、専門に関する科目の一部修正) R6.2改正

東京女子体育短期大学こどもスポーツ教育学科(令和2年度改定カリキュラム)

令和6年度入学生

【幼小コース】

● :卒業(学位取得)に必要な必修科目

科目区分	授業科目	授業形式	単位	幼稚園教諭免許 小学校教諭免許		幼稚園教諭免許		小学校教諭免許		開講時期				備考	
				履修方法		履修方法		履修方法		1年		2年			
				区分	最低履修 単位数	区分	最低履修 単位数	区分	最低履修 単位数	前期	後期	前期	後期		
教養科目	基礎演習 科目	藤村トヨの教育	講義・演習	1							●				
		キャリアデザイン	講義・演習	1	必修	4単位	必修	4単位	必修	4単位	●				
		国語基礎講座	講義	2							●				
	教養科目	児童と文学	講義	2	選択		選択		選択						○
		思想と人間観	講義	2											○
		日本国憲法	講義	2	必修	2単位	必修	2単位	必修	2単位					○
		社会と人間	講義	2											○
		海外英語・文化講座	演習	2									◎		集中授業・隔年開講
		地域社会とボランティア	講義	2	選択		選択		選択		○				
		自然科学入門	講義	2							○				
	野外活動演習	自然科学と生命	講義	2											○
		野外活動演習	演習	1	必修	1単位	必修	1単位	必修	1単位	●				集中授業
	語学・情報 科目	外国語コミュニケーション(英語)Ⅰ	演習	1									●		
		外国語コミュニケーション(英語)Ⅱ	演習	1	必修	4単位	必修	4単位	必修	4単位					○
		情報機器演習Ⅰ	演習	1							●				
		情報機器演習Ⅱ	演習	1								○			
	科体育	体育理論	講義	1	必修	2単位	必修	2単位	必修	2単位			●		
		体育実技(含水泳)	実技	1										●	
教養科目 計				必修	13単位	必修	13単位	必修	13単位						
専門に関する科目	教科科目	国語(含書写)	講義	2							○				
		社会	講義	2	必修	8単位	選択		必修	8単位	○				
		算数	講義	2							○				
		理科	講義	2									○		
		生活	講義	2								○			
		家庭	演習	1	選択				選択						○
		小学校英語	演習	1										○	
		音楽A	演習	1	必修	2単位	必修	2単位	必修	1単位	●				
		音楽BⅠ	演習	1							○				
		音楽BⅡ	演習	1					選択			○			
		音楽BⅢ	演習	1	選択		選択		選択				○		
		音楽BⅣ	演習	1										○	
		図画工作Ⅰ	演習	1	必修	1単位	選択		必修	1単位	○				
	図画工作Ⅱ	演習	1	選択				選択			○				
	リズム遊び(含リミック)	演習	1	選択		選択								○	
	体育Ⅰ	演習	1	必修	1単位	選択		必修	1単位		○				
	体育Ⅱ	演習	1	選択				選択					○		
	総合表現(創作オペレッタ)	演習	2	必修	2単位	必修	2単位	選択					○	○	
	領域科目	子どもと健康	演習	1							○				
		子どもと環境	演習	1	必修	4単位	必修	4単位	選択		○				
子どもと人間関係		演習	1							○					
子どもと表現		演習	1							○					
子どもの運動a		演習	1							○					
子どもの運動b		演習	1								○				
子どもの身体表現a		演習	1	選択		選択				○					
子どもの身体表現b		演習	1								○				
子どもの野外活動		演習	1									○			
子どもの造形と遊び		演習	1								○				
基礎理論 科目	教師論	講義	2					必修	2単位	○					
	保育者・教師論	講義	2	必修	6単位	必修	4単位					○			
	教育原理(含学校の制度と経営)	講義	2					必修	2単位	●					
対象理解 科目	子どもの身体学	講義	2	選択		選択								○	
	発達心理学	講義	2	必修	3単位	必修	3単位	必修	2単位		●				
	幼児理解	演習	1					選択						○	

科目 区分	授業科目	授業 形式	単位	幼稚園教諭免許 小学校教諭免許		幼稚園教諭免許		小学校教諭免許		開講時期				備考					
				履修方法		履修方法		履修方法		1年		2年							
				区分	最低履修 単位数	区分	最低履修 単位数	区分	最低履修 単位数	前期	後期	前期	後期						
専門に関する科目	総論	教育課程論	講義	2	必修	5単位	必修	3単位	必修	2単位				○					
		保育・教育課程論	講義	2													○		
		保育内容総論	演習	1													○		
	内容・方法科目	教育内容指導法	国語科教育法Ⅰ	演習	1	必修	1単位	必修	7単位	必修	1単位		○						
			国語科教育法Ⅱ	演習	1	選択必修	#							○					
			社会科教育法Ⅰ	演習	1	必修	1単位							○					
			社会科教育法Ⅱ	演習	1	選択必修	#									○			
			算数科教育法Ⅰ	演習	1	必修	1単位							○					
			算数科教育法Ⅱ	演習	1	選択必修	#									○			
			理科教育法Ⅰ	演習	1	必修	1単位							○					
			理科教育法Ⅱ	演習	1	選択必修	#									○			
			生活科教育法Ⅰ	演習	1	選択必修	#									○			
			音楽科教育法Ⅰ	演習	1	必修	1単位							○					
			音楽科教育法Ⅱ	演習	1	選択必修	#										○		
			図画工作科教育法Ⅰ	演習	1	必修	1単位							○					
			図画工作科教育法Ⅱ	演習	1	選択必修	#										○		
			家庭科教育法Ⅰ	演習	1	選択必修	#										○		
			体育科教育法Ⅰ	演習	1	必修	1単位							○					
			体育科教育法Ⅱ	演習	1	選択必修	#										○		
			小学校英語教育法Ⅰ	演習	1	選択必修	#										○		
	内容・方法各論	保育内容(健康)指導法	保育内容(健康)指導法	演習	1	必修	10単位	必修	7単位	必修	3単位			○					
			保育内容(人間関係)指導法	演習	1									○					
			保育内容(環境)指導法	演習	1									○					
			保育内容(言葉)指導法	演習	1									○					
			保育内容(身体表現)指導法	演習	1									○					
			保育内容(音楽表現)指導法	演習	1												○		
			保育内容(造形表現)指導法	演習	1												○		
			道徳の指導法	講義	1													○	
			特別活動の指導法	講義	1													○	
			総合的な学習の時間の指導法	講義	1													○	
内容・方法各論	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)	講義	2	必修	5単位	必修	5単位	必修	5単位		○							
		特別支援教育概論	講義	1											○				
		教育相談	講義	2												○			
		レクリエーション演習	演習	1							選択		選択		選択			○	
科目 演習合	生徒指導論(含進路指導)	生徒指導論(含進路指導)	講義	2	必修	2単位	必修	2単位	必修	2単位				○					
		教職実践演習	演習	2	必修	4単位						必修	2単位			○			
		保育・教職(幼稚園)実践演習	演習	2							必修	2単位				○			
実習科目	教育実習(幼小)	教育実習(幼小)	実習	5	必修	5単位	必修	5単位	必修	5単位			○		2年次:6月4週間				
		教育実習(幼稚園)Ⅰ	実習	1							必修	5単位			○				
		教育実習(幼稚園)Ⅱ	実習	4											○		2年次:6月4週間		
専門科目計				必修	65単位	必修	37単位	必修	43単位										
選択必修科目#から1単位以上				選択必修	1単位	選択必修	1単位	選択必修	1単位										
				選択	4単位	選択	4単位	選択	3単位										
教養科目・専門科目				選択		選択	10単位	選択	10単位										
合計					79単位		64単位		70単位										

東京女子体育短期大学こどもスポーツ教育学科(令和2年度改定カリキュラム)

令和6年度入学生

【幼保コース】

● : 卒業(学位取得)に必要な必修科目

科 目 区 分	授 業 科 目	授 業 形 式	単 位	幼稚園教諭免許 保育士資格		幼稚園教諭免許		保育士資格		開講時期				備 考								
				履修方法		履修方法		履修方法		1年		2年										
				区分	最低履修 単位数	区分	最低履修 単位数	区分	最低履修 単位数	前期	後期	前期	後期									
教 養 科 目	基礎演習 科目	藤村トヨの教育	講義・演習	1	必修	4単位	必修	4単位	必修	4単位	●											
		キャリアデザイン	講義・演習	1							●											
		国語基礎講座	講義	2							●											
	教養科目	児童と文学	講義	2	選択		選択															
		思想と人間観	講義	2													○					
		日本国憲法	講義	2	必修	2単位	必修	2単位														
		社会と人間	講義	2													○					
		海外英語・文化講座	演習	2	選択		選択															
		地域社会とボランティア	講義	2													○					
		自然科学入門	講義	2													○					
		自然と生命	講義	2													○					
	野外活動演習	演習	1	必修	1単位	必修	1単位	必修	1単位	●					集中授業							
	語学・情報 科目	外国語コミュニケーション(英語)Ⅰ	演習	1	必修	4単位	必修	4単位	必修	1単位			●									
		外国語コミュニケーション(英語)Ⅱ	演習	1					選択				○									
		情報機器演習Ⅰ	演習	1					必修	1単位	●											
		情報機器演習Ⅱ	演習	1					選択				○									
	科体育	体育理論	講義	1	必修	2単位	必修	2単位	必修	2単位			●									
		体育実技(含水泳)	実技	1													●					
	教養科目計				必修	13単位	必修	13単位	必修	9単位												
	専 門 に 関 す る 科 目	教科科目	音楽A	演習	1	必修	2単位	必修	2単位	必修	1単位	●										
音楽BⅠ			演習	1	○																	
音楽BⅡ			演習	1								○										
音楽BⅢ			演習	1	選択								選択									
音楽BⅣ			演習	1																	○	
リズム遊び(含リミック)			演習	1																		
総合表現(創作オペレッタ)			演習	2	必修							2単位	必修	2単位	必修	2単位			○	○		
領域科目		子どもと健康	演習	1	必修	4単位	必修	4単位	必修	4単位	○											
		子どもと環境	演習	1							○											
		子どもと人間関係	演習	1							○											
		子どもと表現	演習	1							○											
		子どもの運動a	演習	1							選択		選択		選択							
		子どもの運動b	演習	1																		○
		子どもの身体表現a	演習	1																	○	
		子どもの身体表現b	演習	1																		○
子どもの野外活動		演習	1									○										
子どもの造形と遊び		演習	1									○										
基礎理論科目		保育者・教師論	講義	2	必修	14単位	必修	4単位	必修	14単位			○									
		教育原理(含学校の制度と経営)	講義	2							●											
		保育原理	講義	2							○											
		子ども家庭福祉	講義	2								○										
		社会福祉	講義	2							○											
		子ども家庭支援論	講義	2											○							
		社会的養護Ⅰ	講義	2											○							
児童福祉施設研究		演習	1	選択必修	#	選択必修	#	選択必修	#			○										
対象理解科目		こども学	講義	2	選択必修	#	選択		選択必修	#			○									
		子ども身体学	講義	2	選択必修	#	選択		選択必修	#			○									
	発達心理学	講義	2	必修	5単位	必修	2単位	必修	5単位		●											
	子ども家庭支援の心理学	講義	2			選択						○										
	幼児理解	演習	1			必修	1単位					○										
	子どもの保健	講義	2	必修	4単位	選択		必修	4単位		○											
	子どもの食と栄養	演習	2							○	○											

科目区分	授業科目	授業形式	単位	幼稚園教諭免許 保育士資格		幼稚園教諭免許		保育士資格		開講時期				備考						
				履修方法		履修方法		履修方法		1年		2年								
				区分	最低履修 単位数	区分	最低履修 単位数	区分	最低履修 単位数	前期	後期	前期	後期							
専門に関する科目	総論	保育・教育課程論	講義	2	必修	3単位	必修	3単位	必修	3単位				○						
		保育内容総論	演習	1														○		
	教育内容指導法	保育内容(健康)指導法	演習	1	必修	7単位	必修	7単位	必修	5単位			○							
		保育内容(人間関係)指導法	演習	1									○							
		保育内容(環境)指導法	演習	1									○							
		保育内容(言葉)指導法	演習	1									○							
		保育内容(身体表現)指導法	演習	1									○							
		保育内容(音楽表現)指導法	演習	1												○				
		保育内容(造形表現)指導法	演習	1												○				
	内容・方法科目	教育の方法及び技術 (情報通信技術の活用含む)	講義	2	必修	13単位	必修	2単位	選択			○								
			乳児保育Ⅰ	講義							2							○		
		乳児保育Ⅱ	演習	1							必修	4単位				○				
		子どもの健康と安全	演習	1											○					
		特別支援教育概論	講義	1					必修	1単位					○					
		障害児保育Ⅰ(含特別支援教育)	演習	1									○							
		障害児保育Ⅱ(含特別支援教育)	演習	1										○						
		社会的養護Ⅱ	演習	1												○				
		子育て支援	演習	1												○				
		教育相談	講義	2					必修	2単位						○				
	レクリエーション演習	演習	1	選択				選択						○						
	科演習 目習合	保育・教職(幼稚園)実践演習	演習	2	必修	2単位	必修	2単位	必修	2単位					○					
	実習科目	教育実習(幼稚園)Ⅰ	実習	1	必修	5単位	必修	5単位	選択					○						
		教育実習(幼稚園)Ⅱ	実習	4														○		2年次:6月4週間
保育実習指導Ⅰ		演習	2	必修	6単位				必修	6単位	○	○								
保育実習Ⅰ(保育所)		実習	2															○		1年次:2月
保育実習Ⅰ(施設)		実習	2															○		1年次:3月
保育実習指導Ⅱ		演習	1	選択 必修	Ⅱ又はⅢ のいずれ かを選択 する				選択 必修	Ⅱ又はⅢ のいずれ かを選択 する				○						
保育実習Ⅱ		実習	2															○		2年次:9月
保育実習指導Ⅲ		演習	1																○	
保育実習Ⅲ	実習	2																○		2年次:9月
専門科目計				必修	67単位	必修	37単位	必修	54単位											
1)選択必修 保育実習指導・保育実習のⅡ又はⅢのいずれかを修得する 2) 選択必修 選択必修科目#から修得する。				1)選択必修	3単位			1)選択必修	3単位											
				2)選択必修	2単位			2)選択必修	4単位											
教養科目・専門科目						選択	10単位													
合計					85単位		64単位		72単位											

VI 教育課程・保育士課程

VI-1 本学で取得できる教育職員免許状・保育士資格

(1) 大学 体育学部体育学科	高等学校教諭一種免許状(保健体育) 中学校教諭一種免許状(保健体育)
(2) 短期大学 こどもスポーツ教育学科	小学校教諭二種免許状 幼稚園教諭二種免許状 保育士資格

VI-2 教育職員免許状・保育士資格の取得要件

(1) 教育職員免許状	教育職員免許状を取得するには、次の事項を全て満たすことが必要です。 ① 大学又は短期大学を卒業する。 ② 教育職員免許状取得に必要な全ての授業科目の単位を修得する。 ③ 教育実習を履修する。 ④ 介護等体験を行う(ただし、小・中学校教諭の免許状のみ)。 ⑤ 教育職員免許状の授与申請をする。
(2) 保育士資格	保育士資格を取得するには、次の事項を全て満たすことが必要です。 ① 短期大学を卒業する。 ② 保育士資格取得に必要な全ての授業科目の単位を修得する。 ③ 保育実習を履修する。 ④ 保育士資格の登録申請をする。

VI-3 必要な履修科目

教育職員免許状・保育士資格を取得するのに必要な履修科目及び単位数は30～37頁を参照すること。

VI-4 教育実習

(1) 履修学年	卒業年次
(2) 時期及び期間	原則として5～6月に教育実習を行います。 期間は大学が3週間、こどもスポーツ教育が4週間です。
(3) 実習校	実習する年度の前年の6月末までに自分で内諾を得ます。
(4) 履修条件	① 教員を志望し、教育実習を真剣に履修しようとする強い意思をもっている。 ② 心身ともに健康である。 ③ 卒業見込み単位を修得している。 ④ オリエンテーション、その他教育実習の事前指導に出席している。 ⑤ 教育実習を行うまでに、次の科目が取得済みである。 [高等学校又は中学校で実習する場合]

教職論、教育原理、教育心理学、保健体育科教育法Ⅰ、保健体育科教育法Ⅱ

[小学校で実習する場合]

教師論、教育原理、発達心理学、各教科の指導法Ⅰ(国語・社会・算数・理科・音楽・図画工作・体育のうち6科目)

[幼稚園で実習する場合]

子どもと人間関係、保育内容(人間関係)指導法

上記の条件を満たさない場合は、原則として教育実習の履修を認めていません。

その他教育実習に関する詳細は、大学は2年次の2月、短大は1年次の4月に配付する「教育実習の手引き」を参照してください。

※科目等履修生の教育実習に関する条件は、別途ガイダンスで説明します。

VI-5 保育実習

(1)履修学年・時期

1年次2月及び3月

(2)日数(時間数)

2年次9月

おおむね10日間

(3)実習先

配属実習として学校が実習先を指定します。

(4)履修条件

保育実習を行うまでに、次の科目が取得済みである。

[保育実習Ⅰ(保育所)] 1年次2月

保育原理(1年前期)

[保育実習Ⅰ(施設)] 1年次3月

子ども家庭福祉(1年後期)

[保育実習Ⅱ(保育所)] 2年次9月

保育実習Ⅰ(保育所)(1年後期)

[保育実習Ⅲ(施設)] 2年次9月

保育実習Ⅰ(施設)(1年後期)

VI-6 介護等体験

小学校及び中学校の教諭の免許状を取得しようとする学生は、介護等体験を実施することが義務づけられています。

1年次開講科目であり、卒業単位及び教職必修科目である5科目(スポーツ原理、スポーツ心理学Ⅰ、スポーツ史、生理学、教職論)の取得が実施条件です。[大学体育学部のみ]

(1)実施学年

① 大学 2~4学年(基本的には、3学年で実施)

② 短期大学 1学年

(2)体験期間

① 特別支援学校 2日間

② 社会福祉施設 5日間

(3)体験の主な内容

① 特別支援学校 児童・生徒の介護・介助・交流、運動会や文化祭の手伝い、プール指導、遠足・校外学習の付添い等

- ② 社会福祉施設 施設利用者の介護・介助・交流、施設の作業・行事等の業務補助、掃除・洗濯等の手伝い
詳細は、別冊「介護等体験の手引き」を参照すること。

VI-7 教育職員免許状の申請手続

教育職員免許状の申請は原則として個人が行うものですが、特別措置として、大学・短期大学が一括して京都教育委員会に申請することにより、卒業と同時に免許状を取得することができます。この場合、次の手続が必要になります。

- | | |
|-----------------------|-----------|
| (1) 教育職員免許状申請ガイダンス出席 | 卒業年次の7月下旬 |
| (2) 教育職員免許状授与に伴う宣誓の署名 | 〃 10月下旬 |
| (3) 教育職員免許状授与申請手数料の納入 | 〃 〃 |

VI-8 保育士資格の申請手続

保育士資格の申請は原則として個人が行うものですが、特別措置として、短期大学(指定保育士養成施設)が一括して保育士登録機関・登録事務処理センターへ登録申請することにより、資格を取得することができます。この場合、次の手続が必要になります。

- | | |
|--------------------|-----------|
| (1) 保育士資格申請ガイダンス出席 | 卒業年次の9月下旬 |
| (2) 登録手数料払込 | 〃 10月中旬 |
| (3) 卒業(修了)見込証明書 | 〃 〃 |

VII 取得可能な資格

VII-1 資格取得の意義

本学は多種多様な資格を在学中に取得することができます。自分のキャリアのために何が必要か、どれを選ぼうかと考えることは、キャリア形成をする上で大切なことです。また、資格取得のための学びは、社会人として役立つ知識や教養の獲得につながります。学生のうちに、自分自身に適した資格の取得を推奨しています。

VII-2 取得できる資格

本学では、定められた授業科目を履修することにより、卒業と同時に教育職員免許状や保育士資格を取得することができます。また、本学は、(公財)健康・体力づくり事業財団、(公財)日本スポーツ協会、(公財)日本パラスポーツ協会、(特非)日本トレーニング指導者協会の指導者養成校として認定されていますので、必要な授業科目を履修することにより、卒業までに各種指導者の資格認定試験を受験することができます。

なお、こうした資格以外にも、「資格取得対策講座」を開設するなどして、個々の学生の資格取得支援を行っています。

資格名	大学体育学部 体育学科	短期大学 こどもスポーツ教育学科	
		幼小コース	幼保コース
中学校教諭一種免許状(保健体育)	●		
高等学校教諭一種免許状(保健体育)	●		
中学校教諭二種免許状(保健体育)			
小学校教諭二種免許状	▲	●	
幼稚園教諭二種免許状	▲	●	●
保育士資格			●
コーチングアシスタント(共通科目Ⅲ)	◎		
コーチングアシスタント(共通科目Ⅰ)			◎
ジュニアスポーツ指導員	◎		◎
スポーツプログラマー	◎		
初級パラスポーツ指導員	●		●
健康運動実践指導者	◎		
健康運動指導士	◎		
トレーニング指導者(JATI-ATI)	◎		

●…所定の授業科目の単位を修得し、卒業することによって取得することができる資格

◎…所定の授業科目の単位を修得することによって、在学中に受験することができる資格

▲…併設の短期大学で開講される所定の授業科目の単位を修得することによって、取得ができる資格(ただし、履修条件があります。)

※上記の資格は、所定の科目を履修し、単位を修得する必要があります。教育職員免許状・保育士資格は前項の「教育課程・保育士課程」38頁を参照し、他の資格の詳細はキャリア支援課より配付される「資格取得の手引き」を参照してください。

ポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」について

大学からの連絡事項や履修登録・授業において、本学ではポータルサイト「UNIVERSAL PASSPORT」を活用しています。活用するにあたって、下記を参照しアプリをインストールしましょう。

1. アプリのインストール

アプリ<UNIPA>を下記QRコードからインストールしてください。

[iPhone]の方



[Android]の方



2. アプリの起動手続き

アプリ<UNIPA>をタップして、次の画面にて下記URL(赤字部分)を入力してください。

[URL] <https://unipa.twcpe.ac.jp/uprx>

[iPhone]

[Android]

3. アプリにログイン

ログイン画面で、ユーザIDとパスワードを入力してください。

→ ユーザIDは、学籍番号6桁

→ パスワードは、各自で設定した内容（初期値は生年月日8桁）



これから新たなUNIPA生活の始まりです！
アプリを毎日チェックして大学からの情報を確認しよう。
操作で困ったことがあったら、操作マニュアルを確認してね。



※操作マニュアルは、<IPHONE版>と<ANDROID版>があるから気を付けてね！！



★ パソコンやタブレットでの操作について

パソコンやタブレットからでも見てみましょう！

[URL] <https://unipa.twcpe.ac.jp/>

《ログイン画面》



学団法人 樹木学園
東京女子体育大学 東京女子体育短期大学
体育学部体育学科 保健体育学科・こどもスポーツ教育学科

○シラバスの閲覧について
閲覧を希望される方は、下記URLからログインしてください。
<現在：未設定>

○定期メンテナンスについて
毎日、夜間にシステムメンテナンスを行いますので、下記時間帯は
UNIVERSAL PASSPORTを利用できません。
利用停止時間：深夜2時00分～5時00分

○ポップアップブロックの解除について
ポップアップブロック機能が有効な場合、ページが開かないことがあります。
設定画面により、ポップアップブロック機能を解除してください。

○推奨環境について
ブラウザ：Microsoft Edge・Mozilla Firefox・Chrome・Safari
OS：Windows10以上、macOS10.14.x・10.15.x・11.x・12.x・13.x

UNIVERSAL PASSPORT^{RM}
UNIVERSAL SERIES

User ID
Password
LOGIN
パスワードを忘れた方はこちら
スマートフォンはこちら

2024 履修ナビ

発行日 2024年4月
発行 東京女子体育大学
東京女子体育短期大学
教務課
〒186-8668 国立市富士見台 4-30-1
電話 042-573-7452
印刷 明誠企画株式会社

